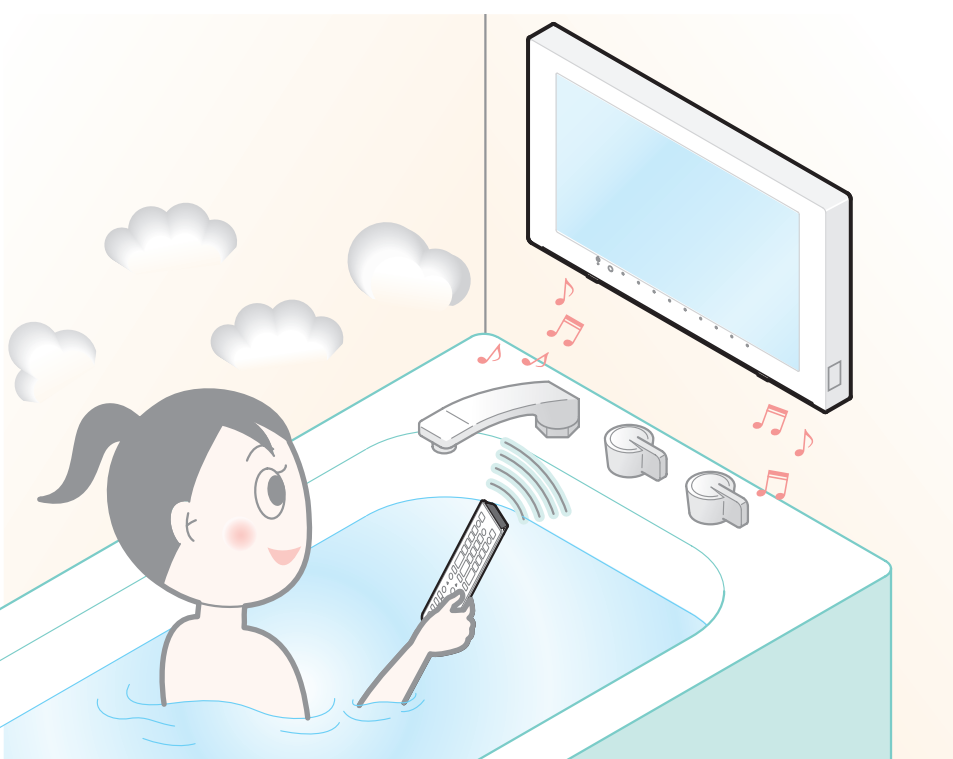


浴室テレビ(24V型ワイド)

EKK30177
PTZ0080N



- ◆このたびは、TOTO製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- ◆保証書にお取扱店名、お引渡し日などが記入されていることを必ずお確かめください。
- ◆この取扱説明書は、大切に保管し、必要なときにお読みください。
転居される場合は、新しく入居される方または取り次ぎされる方にこの取扱説明書をお渡しください。

1 ご使用の前に

各部のなまえとはたらき	1
付属品の確認	3
安全上のご注意	4
使用上のご注意	6

2 準備編

リモコンの準備	7
電源を入れる	8
地上デジタル放送の受信設定をする	9

3 操作編

テレビを見る	12
好みの映像に調整する	14
好みの音声に調整する	16
タイマーを設定する	17
画面サイズを切り換える	18
番組を探す・見る	19
字幕・文字スーパーを表示する	21
チャンネル番号を入力して番組を見る	23
アンテナ設定をする	24
お知らせを見る	26
ソフトウェアを自動ダウンロードする	27
省エネ設定をする	29
暗証番号を設定(視聴制限)する	30
外部機器を接続する	34
外部機器を見る	35
外部入力の設定をする	36
外部機器の設定をする	37
チャンネルを追加する	38
チャンネルスキップを設定する	40
通信設定をする	41
B-CASカードの動作を確認する	48
B-CASカードの番号を確認する	49
テレビの設定を初期化する	50

* お手入れ

お手入れについて	52
----------	----

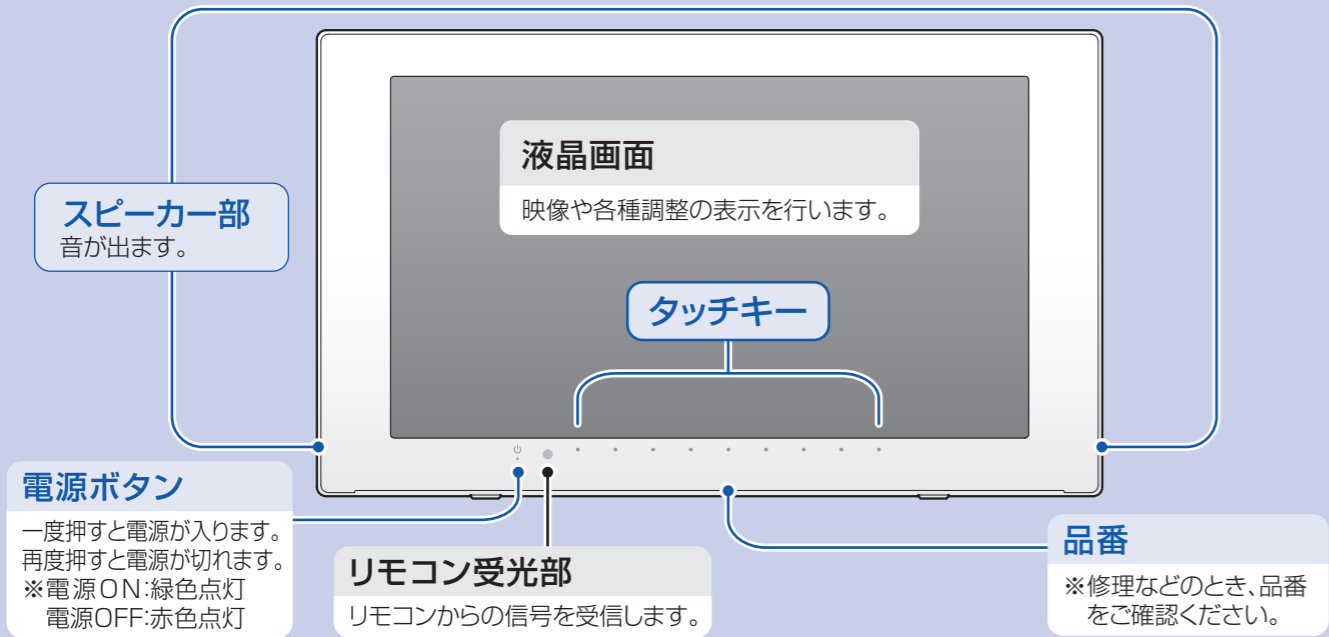
? こんなときは

故障かな?と思ったら	53
メッセージ表示一覧	58
よくある問い合わせ(Q&A)	58
メニュー画面一覧	59
アフターサービスについて	61
仕様	62
著作権など	63
保証書	70

各部のなまえとはたらき

モニター

※電源ボタンを操作するとき、またはタッチキーを表示させるときはボタンを約1秒程押し続けて操作してください。
※タッチキーの操作は●で行ってください。



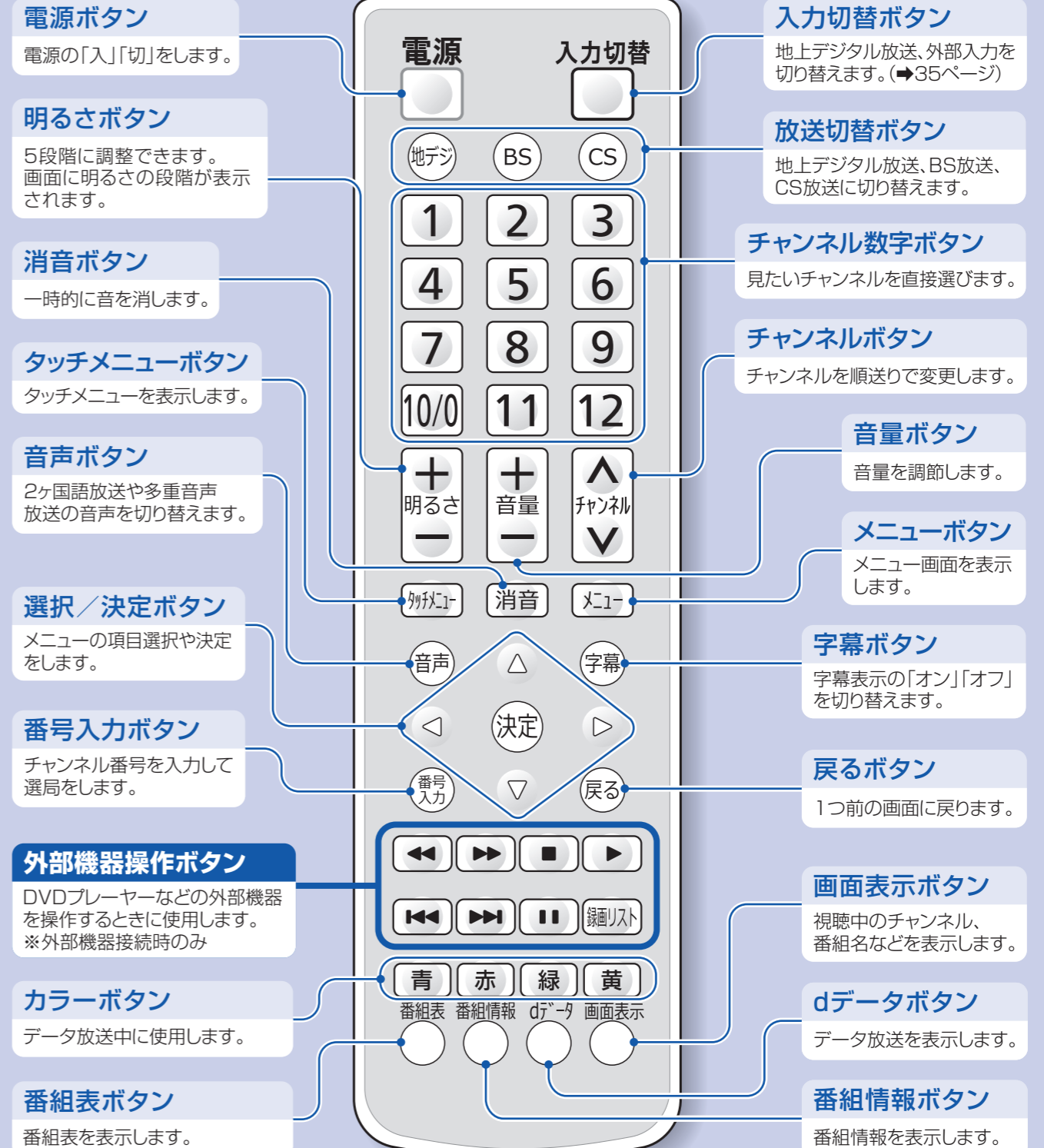
タッチキーメニュー



リモコン

おしらせ

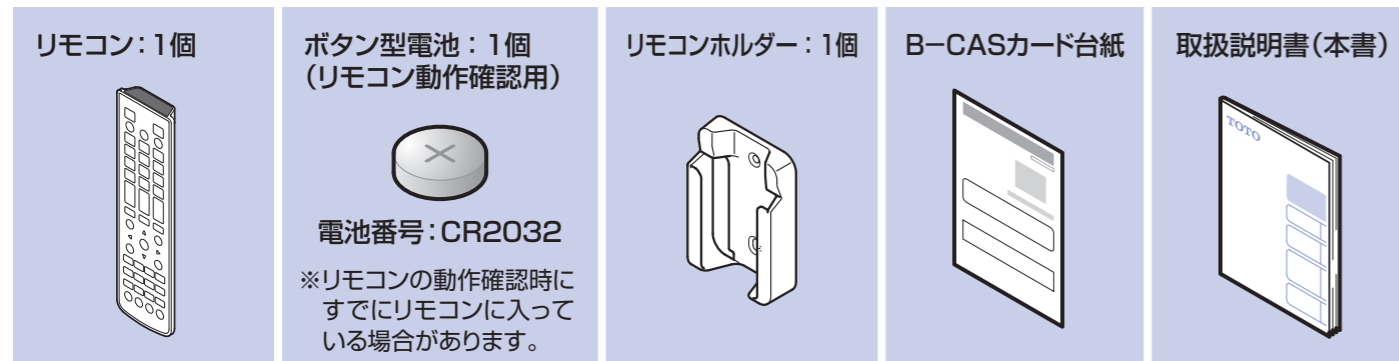
※リモコンは浴槽に浮かべたり沈めたりしないでください。
(故障の原因となります。)



リモコンは必ずリモコンホルダーに入れて保管してください。
他の場所に置いた場合、落下や水没のおそれがあり、故障の原因となります。

付属品の確認

最初に付属品を確認してください



※付属品が不足している場合、取付店・販売店までお問い合わせください。

B-CAS(ビーキャスト)カードについて

■はじめに

デジタル放送は、B-CASカード (miniB-CASカード) がなければ視聴することができません。
B-CASカードは、浴室天井裏の電源・チューナーボックスに挿入されています。

- ・お客様とB-CAS社との間で「B-CASカード使用許諾契約」が成立しております。
B-CASカード台紙に記載の「B-CASカード使用許諾契約約款」をよくお読みください。
- ・B-CASカードは浴室天井裏に設置しているため、お客様によるカードの抜き差しはご遠慮ください。
- ・B-CASカードがB-CASカード台紙にパッケージされたまま引き渡された場合は、お求めの販売店にご連絡ください。
- ・画面上にB-CASカードに関するエラーメッセージが表示されたときや、カードの抜き差しの必要が生じた場合は、お求めの販売店にご連絡ください。

■B-CASカードの動作を確認する

- ・「B-CASカードの動作を確認する(➡48ページ)」の操作で確認できます。

■B-CASカードのID番号を確認する

- ・「B-CASカードの番号を確認する(➡49ページ)」の操作で確認できます。

- ・B-CASカードの故障・交換は、本製品の保証に準じて行います。
- ・画面上に「miniB-CASカードをご確認ください」とメッセージが表示されたときは、お求めの販売店にご相談ください。

安全上のご注意

安全のために、必ずお守りください。

本製品をご使用前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
この取扱説明書では、お客様ならびに他の人への危害、物的損害を未然に防ぐための内容を説明しています。
次の表示の区分と図記号の内容をご理解のうえ、本文をお読みになり、記載事項をお守りください。
お読みになったあとはお使いになる方がいつでも見られる場所に保存しておいてください。

表示と意味は次のようになっています。



この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を表示しています。



この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が障害を負う可能性および物的損害の発生が想定される内容を示しています。

お守りいただく内容を絵表示し、その意味は次のようになっています。



分解禁止



必ず行う



一般的な禁止



触れるな



注意

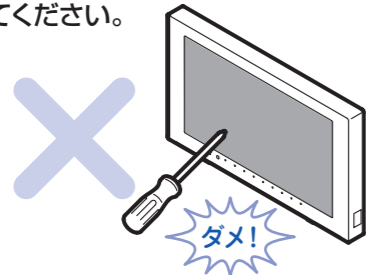
警告



分解禁止

絶対に分解したり、修理・改造は行わない

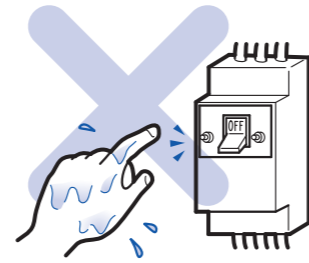
火災、感電の原因になります。
※修理はお求めの販売店・取付店に依頼してください。



触れるな

ぬれた手で屋内開閉器(ブレーカー)をさわらない

感電のおそれがあります。



禁止

万一、煙が出る・変なにおいがした場合は、ただちに使用をやめ、屋内開閉器(ブレーカー)にて電源を切る

感電や火災、事故のおそれがあります。
ただちにお求めの販売店・取付店またはTOTOメンテナンス(株)修理受付センター TEL ☎0120-1010-05 FAX ☎0120-1010-02(フリーダイヤル)にご相談ください。

注意



必ず行う

雷が発生した際は屋内開閉器(ブレーカー)にて電源を切る
雷による過電流で電子部品が破損するおそれがあります。



禁止

ケースが割れた、画面が映らないなどこわれたままで使用しない
感電や火災、事故のおそれがあります。



禁止

上に物を置かない
落下してけがをするおそれがあります。



必ず行う

モニターを手前に引いてガタツキがないことを確認する
確実に取り付けられていない場合は水漏れのおそれがあります。
お求めの販売店・取付店にご相談ください。



禁止

ご自身で取付位置を変更しない
感電や火災、水漏れのおそれがあります。
※変更の際はお求めの販売店・取付店にご相談ください。



必ず行う

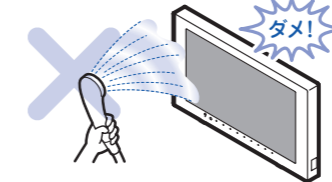
リモコンの電池はプラス⊕とマイナス⊖に注意して正しく入れる
電池の液もれなどにより、周囲が汚れたりするおそれがあります。

使用上のご注意

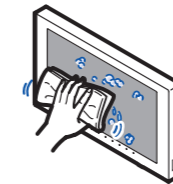
機器の故障、破損の原因になりますので、次のことをご守りください。

モニターとリモコンについて

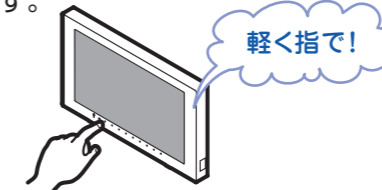
- **故意に水をかけない**
スピーカー穴に水が溜まり音が小さくなったり、画面に水あかがついたりします。水がかかった場合は早めにふき取ってください。



- **シャンプーなどがついたら、軽く絞った布で拭き、その後、乾いたやわらかい布で水滴を拭き取る**
そのまま放置すると変色、故障の原因となります。



- **ボタンは軽く指で操作する**
先のとがったもので操作したり、衝撃をあたえると故障の原因となります。



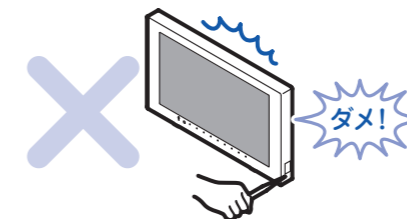
- **使用温度範囲内で使用する**
使用温度(0~50℃)をこえた範囲での使用は、故障の原因となります。

モニターについて

- **画面を強く押さない**
画面にムラが出たり、液晶パネル故障の原因となります。



- **スピーカー部に物を差し込まない**
防水機能がこわれ、故障の原因となります。



リモコンについて

- **テレビ本体に向けて操作する**
- **浴槽に浮かべたり沈めたりしない**
故障の原因となります。



- **電池交換は水滴をよく拭き取ってから行う**
水が入ると故障の原因となります。



- **電池ふたは確実にしめる**
故障の原因となります。

- **落とさない**
故障の原因となります。

- **リモコンホルダーは日の当たらない所につける**
変色などの原因となります。

- **リモコンは必ずリモコンホルダーに入れて保管する**
他の場所で保管した場合、落下や水没のおそれがあり、故障の原因となります。

液晶パネルについて

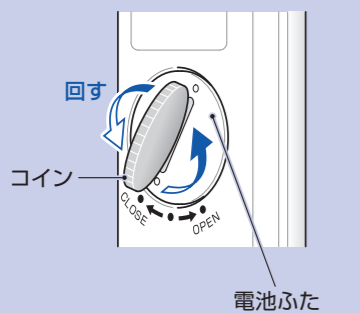
- **画面に点(赤、青または緑)があるのは、液晶パネル特有の現象であり、故障ではありません。**
液晶パネルは非常に精密な技術で製造されておりますが、画素抜けや点の常時点灯するものがありますので、ご了承ください。

リモコンの準備

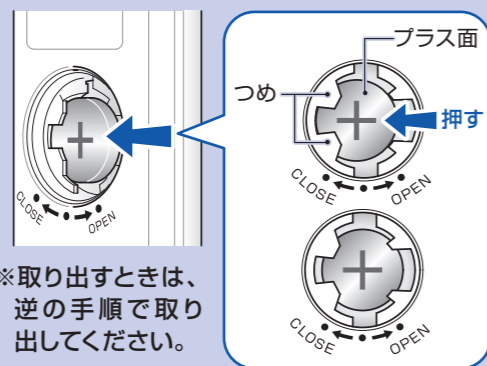
ボタン型電池の確認

リモコンの動作確認時、すでにリモコンに入っている場合があります。付属のボタン型電池は動作確認用です。早めに新しいボタン型電池と交換してください。

1 リモコン裏側の電池ふたを回して開ける。
(コインなどを使用してください)

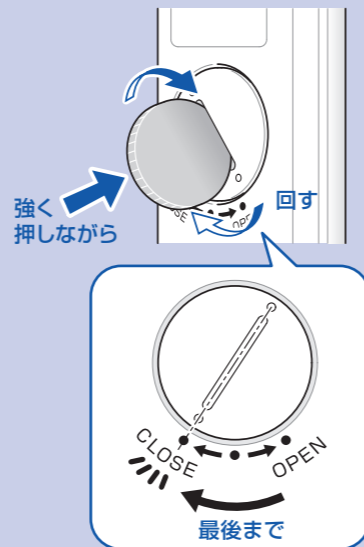


2 ボタン型電池を入れる場合は⊕プラスを手前にして入れる。左側のつめの下に電池を滑り込ませ、左へ向かって押す。



※取り出すときは、逆の手順で取り出してください。

3 電池ふたを強く押しながら回し「閉」まで締める。



注意

※電池交換は必ず水滴などを拭き取ってから行う
必ず行う
リモコン内部に水が入ると故障します。

おしらせ

※電池の⊕⊖は正しい向きに入れてください。
※長い間使用しないときは、ボタン型電池をリモコンから取り出しておいてください。
※リモコン表面には養生シートが貼られています。養生シートが破れた場合には、はがしてご使用ください。

操作できる範囲について

リモコンは、画面左下の受光部に向けて操作します。操作できる範囲は、受光部から約5m、上下左右に約30度以内です。

おしらせ

※リモコンとモニターの間には障害物があつたり、リモコン受光部に直射日光や蛍光灯の光などがあつている場合は、正しく動作しない場合があります。
※リモコンを使用できる距離が短くなつたり、リモコンが動作しなくなつてきたら、新しいボタン型電池に交換してください。

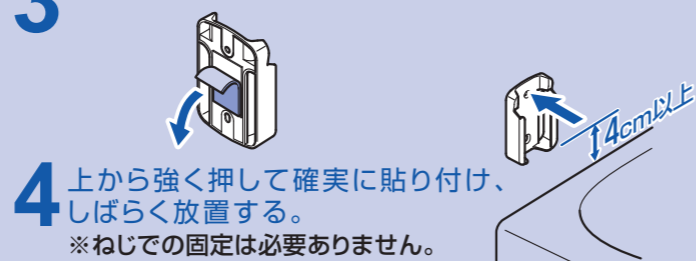
リモコンホルダーを取り付ける

1 取付位置を決める。

※直射日光の当たらない位置に貼り付けてください。
※必ず壁に貼り付けてください。
※壁のつなぎ部分には貼り付けしないでください。
※気温の低いときは、両面テープをドライヤーなどであたためてから貼り付けてください。

2 取付面の汚れや水滴をよく拭き取る。

3 裏の両面テープ保護紙をはがす。



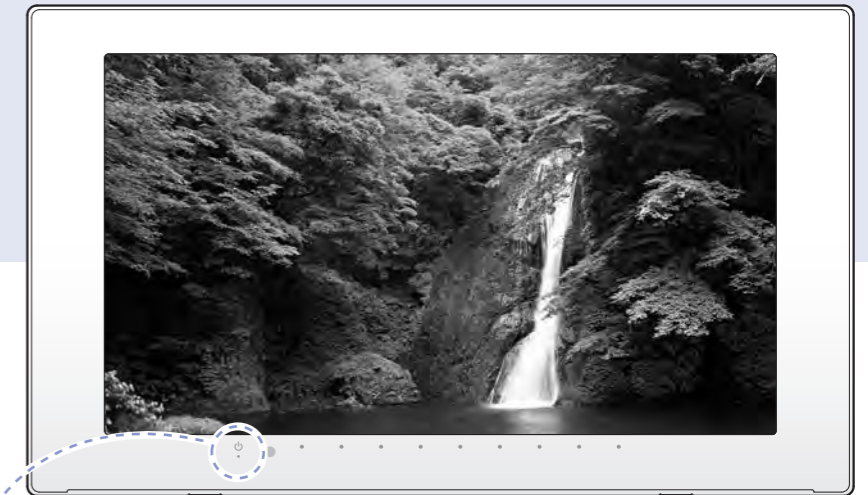
4 上から強く押して確実に貼り付け、しばらく放置する。
※ねじでの固定は必要ありません。

おしらせ

※リモコンが出し入れできることをご確認の上、リモコンホルダー貼り付け位置を決めてください。
※リモコンをホルダーに入れた状態ではリモコンの赤外線はテレビに届きません。リモコンはテレビに向かって操作してください。

電源を入れる

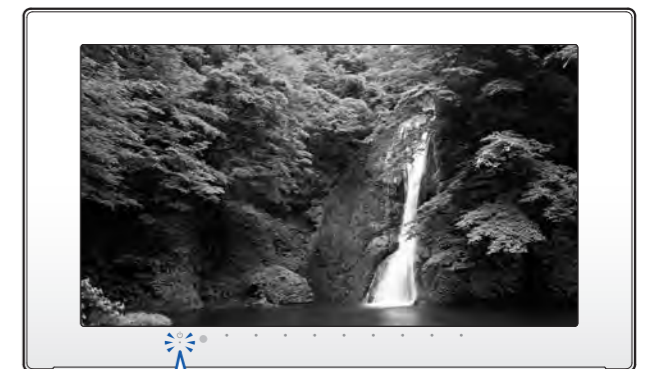
モニターの電源ボタンまたはリモコンの電源ボタンを押して電源を入れます。



※電源ボタンを操作するときは、ボタンを約1秒程押して操作してください。

1 電源を入れる

押すたびに電源を「入」・「切」します。



電源ランプが電源ON:緑色点灯
電源OFF:赤色点灯



地上デジタル放送の受信設定をする

ご購入後初めて電源を入れたときは画面の指示に従って、受信設定を行ってください。

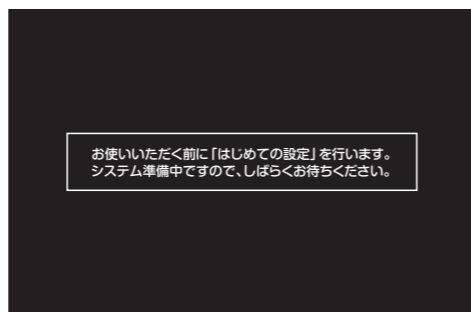
地域設定とチャンネル自動設定

お住まいの地域の緊急放送を確実に受信できるよう、必ず設定してください。



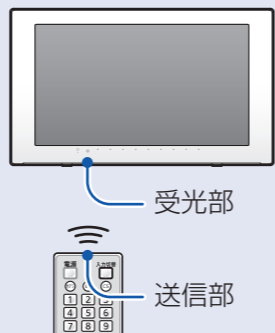
※電源ボタンを操作するとき、またはタッチキーを表示させるときは、ボタンを約1秒程押し続けて操作してください。

1 モニターの電源ボタン、またはリモコンの電源ボタンを押す
初期画面になります。

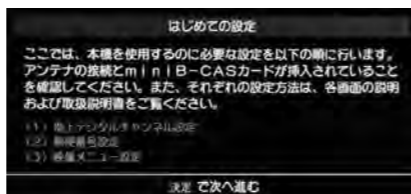


おしらせ

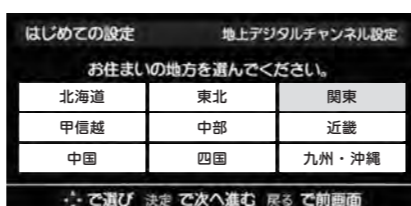
- ※ リモコンの電池は入っていますか。(⇒7ページ)
- ※ リモコンはリモコン受光部に向けて操作してください。リモコンの向きが悪い場合や、リモコン送信部・受光部が汚れている場合は、うまく動作しないことがあります。



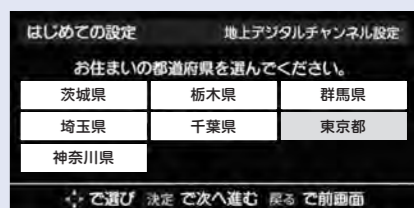
2 モニターの決定ボタン、またはリモコンの決定ボタンを押す



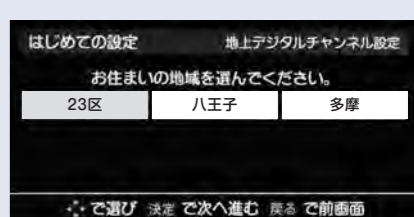
3 △▽ボタンでお住まいの「地方」を選び、決定ボタンを押す



4 △▽ボタンでお住まいの「都道府県」を選び、決定ボタンを押す

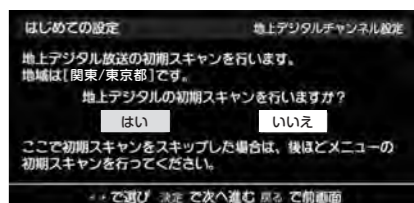


5 △▽ボタンでお住まいの「地域」を選び、決定ボタンを押す



6 「はい」を選び、決定ボタンを押すと初期スキャンが実行されます

- お住まいの地域で受信できる地上デジタル放送のチャンネルを調べて一覧表示しますので、しばらくお待ちください。
- 10分程度かかる場合があります。



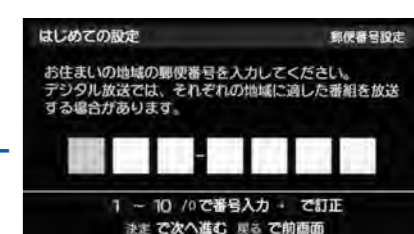
7 正しく設定されていることを画面で確認後、決定ボタンを押す

おしらせ

※ 同じチャンネル番号の放送を複数受信した場合、他の地域の放送局は、リモコンのチャンネル数字ボタンの空き番号に割り当てられます。

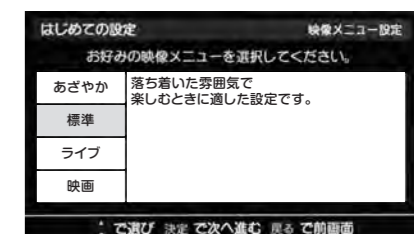


8 リモコンの1～10/0ボタンで郵便番号を入力し、決定ボタンを押す
訂正するときは<ボタンを押してください。



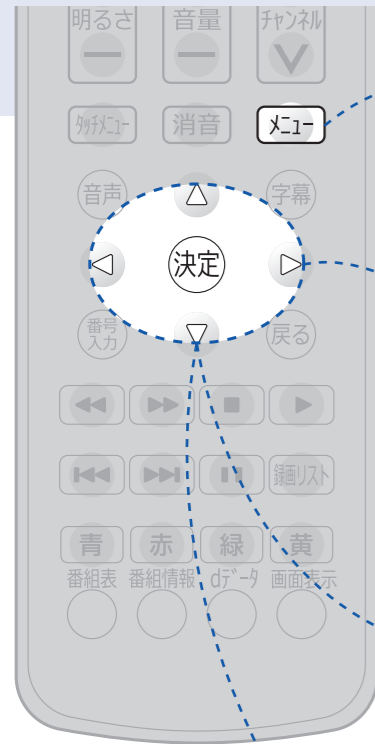
9 △▽ボタンでお好みの映像メニューを選び、決定ボタンを押す

操作が終了しました。



地域設定とチャンネル自動設定(やり直すとき)

お住まいの地域の緊急放送を確実に受信できるように、必ず設定してください。



1 モニターのメニューボタン、
またはリモコンの **メニュー** ボタンを押す

2 △▽ ボタンで「設定」を選び、
決定 ボタンを押す

3 △▽ ボタンで「初期設定」を選び、
決定 ボタンを押す

4 △▽ ボタンで「はじめての設定」を選び、
決定 ボタンを押す
「地域設定とチャンネル自動設定」(→9ページ)の
手順2から行ってください。



テレビを見る

普段の使いかた



電源ランプが緑色点灯します。

※電源ボタンを操作するとき、またはタッチキーを表示させる
ときは、ボタンを約1秒程押し続けて操作してください。

1 電源ボタンを押し、電源を入れる
押すたびに電源を「入」・「切」します。

2 各ボタンを押し、チャンネルを選ぶ
放送切替ボタンで選ぶ → 地デジ、BS、CS
チャンネル数字ボタンで選ぶ → リモコン番号「1」～「12」

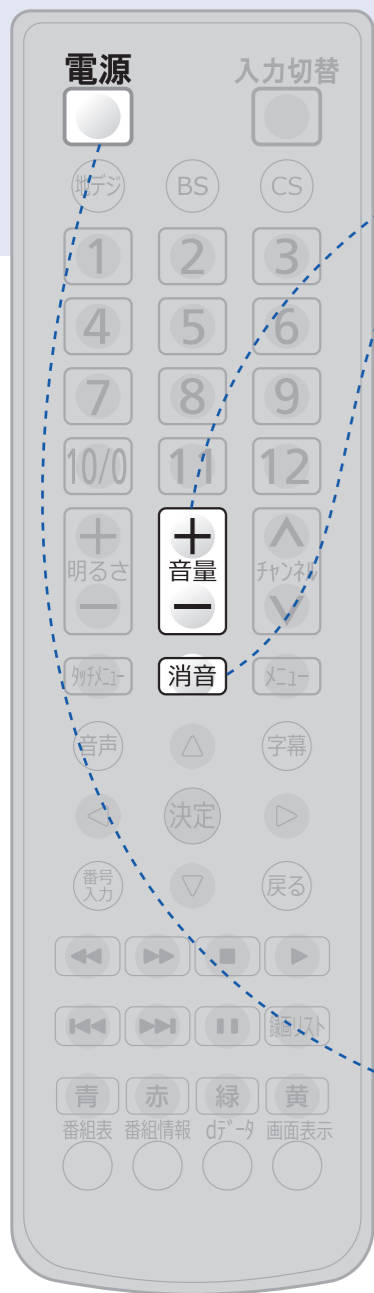
↑ 順送りで選ぶ → チャンネル「↑」/「↓」
(モニターの CH▼ CH▲ ボタンでもできます)

○ デジタル放送の電子番組表 (EPG) を見る
「番組表」を押します。「戻る」を押すと、表示が消えます。
(番組表からのチャンネル決定もできます。)

○ チャンネルの表示をする
「画面表示」を押します。選択中の番組名、チャンネル番号
が表示されます。



テレビを見る(つづき)






3 音量を調整する

音量ボタン  で調整します。


(モニターの 音量- 音量+ ボタンでもできます)


音量バーが表示されます。

-  → 音量が大きくなります
-  → 音量が小さくなります
-  → 音量を一時的に消します



■音を一時的に消すには

 ボタンを押してください。

※  ボタンで音を消した場合は、画面の右下に「消音」の文字が表示されます。

解除する場合は、再度  ボタンを押すか、

 ボタンを操作してください。

4 電源を切る

モニターの電源ランプが赤色点灯します。

お知らせ

※ 電源を切ってもチャンネルや音量などは記憶されます。

お好みの映像に調整する

リモコンから映像の濃淡や明るさ、色合いなどをお好みの状態に調整します。



画質を調整する



1 モニターのメニューボタン、またはリモコンの  ボタンを押す

2  ボタンで「映像設定」を選び、 ボタンを押す

3  ボタンで調整したい項目を選び、 ボタンを押す

4  ボタンでお好みの画質に調整する
設定後は  ボタンを押してください。

お知らせ

※ 60秒間操作しないとメニュー表示が消えます。

映像メニュー	
あざやか	日中の明るいリビングで迫力のある映像を楽しむときに適した設定です。
標準(工場出荷時)	落ち着いた雰囲気を楽しむときに適した設定です。
ライブ	暗くした部屋で映画を見るときに適した設定です。
映画	暗くした部屋で映画を見るときに適した設定です。 (暖かみのある色合いが再現されます。)
ゲーム(外部入力設定時のみ)	ゲームのレスポンスを重視した映像を見るときに適した設定です。
PC(外部入力設定時のみ)	パソコンの画面を表示するときに適した設定です。

※ < > は工場出荷時の設定を示します。

映像調整(放送/再生)	
バックライト<40>	バックライトの明るさをお好みに調整できます。
コントラスト<100>	設定値が低いほど明暗の差が弱まり、設定値が高いほど明暗の差が強調されます。
黒レベル<0>	設定値が低いほど暗く、設定値が高いほど明るくなります。
色の濃さ<0>	設定値が低いと色が薄く、設定値が高いと色が濃くなります。
色あい<0>	設定値が低いと紫っぽく、設定値が高いと緑っぽくなります。
シャープネス<0>	設定値が低いほど輪郭がぼやけ、設定値が高いほど輪郭がくっきり表示されます。
詳細調整	映像をより細かく調整します。 (次ページ詳細調整をご覧ください。)
映像調整の初期化	映像メモリー調整を初期設定に戻します。

詳細調整(放送/再生)	
カラーイメージコントロール	画像の色調を調整することができます。
ノイズリダクション	●「MPEG NR」 動きの速い映像のブロックノイズ(モザイク状のノイズ)と、モスキートノイズ(輪郭の周囲のノイズ)を減らす機能です。 ●「ダイナミックNR」 映像のざらつきやちらつきを減らします。
ダイナミックバックライト制御(オン)	映像の明るさに応じてバックライトの明るさを自動調節し、メリハリのある映像にします。 ●オン:バックライト制御の機能が働きます。 ●オフ:この機能は動きません。
シネマスキャン(オン)	映像ソフト(フィルム映像)がもつスムーズな映像の動きと画質を再現します。 ※映像によっては、効果がわかりにくい場合があります。 ※映像に違和感がある場合は、「オフ」に設定してください。
色温度(8)	色をきめ細かく再現することができます。
ダイナミックガンマ(7)	映像の内容に応じて、暗い部分から明るい部分にかけての階調が自動的に調整されます。
ガンマ調整(0)	ガンマ調整映像の暗い部分と明るい部分の階調バランスを調整します。
2Dアパチャー(0)	映像の横線輪郭を強調したり弱めたりする機能です。数値が大きいほど、輪郭を強調します。

※〈 〉は工場出荷時の設定を示します。

画面調整する

※フル(工場出荷時)の場合は調整できません。(ワイド/ズームのみ調整可能)



- 1 モニターのメニューボタン、またはリモコンの **メニュー** ボタンを押す
- 2 **△▽** ボタンで「設定」を選び、**決定** ボタンを押す
- 3 **△▽** ボタンで「機能設定」を選び、**決定** ボタンを押す
- 4 **△▽** ボタンで「画面調整」を選び、**決定** ボタンを押す

- 5 **△▽** ボタンで調整したい項目を選び、**◀▶** ボタンでお好みの状態にする
設定後は **戻る** ボタンを押してください。

上下振幅調整<00>	映像の縦のサイズを調整します。
上下画像位置<00>	映像の表示位置を上下方向に調整します。
左右振幅調整<00>	映像の横のサイズを調整します。
画面調整の初期化	初期状態に戻ります。

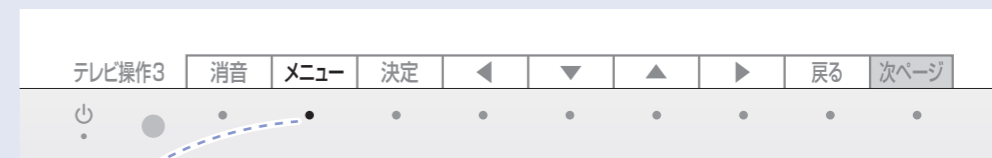
※〈 〉は工場出荷時の設定を示します。



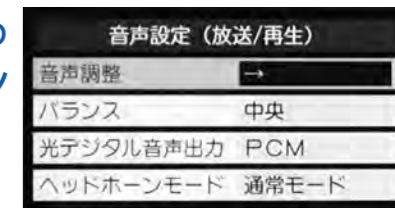
お好みの音声に調整する

リモコンから音声などをお好みの状態に調整します。

音質を調整する



- 1 モニターのメニューボタン、またはリモコンの **メニュー** ボタンを押す
- 2 **△▽** ボタンで「音声設定」を選び、**決定** ボタンを押す
- 3 **△▽** ボタンで調整する項目を選び、**決定** ボタンを押す
- 4 **◀▶** ボタンでお好みの音質に調整する
設定後は **戻る** ボタンを押してください。



おしらせ

※ サラウンドを「オン」にすると、臨場感あふれるサラウンド効果が楽しめます。(番組の音源によってはサラウンド効果を感じられない場合や、音量が大きくなったように聞こえる場合があります。)
「光デジタル音声出力」はこの機種では利用できません。設定を変更しないでください。

音声調整(放送/再生)	
高音<00>	設定値が小さいほど高音を弱め、設定値が大きいほど高音を強調します。
低音<00>	設定値が小さいほど低音を弱め、設定値が大きいほど低音を強調します。
サラウンド<オフ>	ステレオ音声を自然な広がり感を持ったサラウンドで再生する機能です。「オン」「オフ」で切り替えます。
高音強調<オフ>	ドラマのセリフや楽器の輪郭を明瞭にして聞きやすくします。「オン」「オフ」で設定します。
低音強調<オフ>	低音の効果を強くすることができ、豊かな低音を再生します。「強」「弱」「オフ」で設定します。
音声調整の初期化	調整した内容をすべて出荷時の状態に戻します。

※〈 〉は工場出荷時の設定を示します。

バランス

バランス<中央>
左右のスピーカーの音量バランスを調整します。「左50」(左を強く)~中央(左右同じ)~「右50」(右を強く)の範囲で調整できます。

●浴室オーディオと接続時のみ設定変更可能

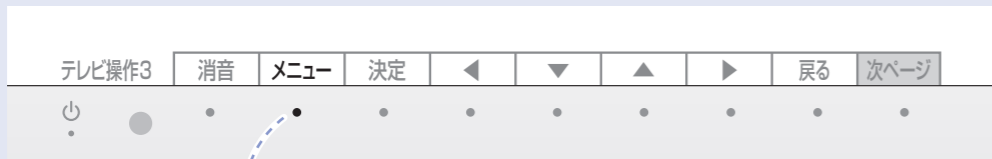
ヘッドホーンモード

通常モード<工場出荷時>
浴室テレビのスピーカーの音が消えて、浴室オーディオのみから音がでます。

親切モード
浴室テレビおよび浴室オーディオ両方から音が出ます。

タイマーを設定する

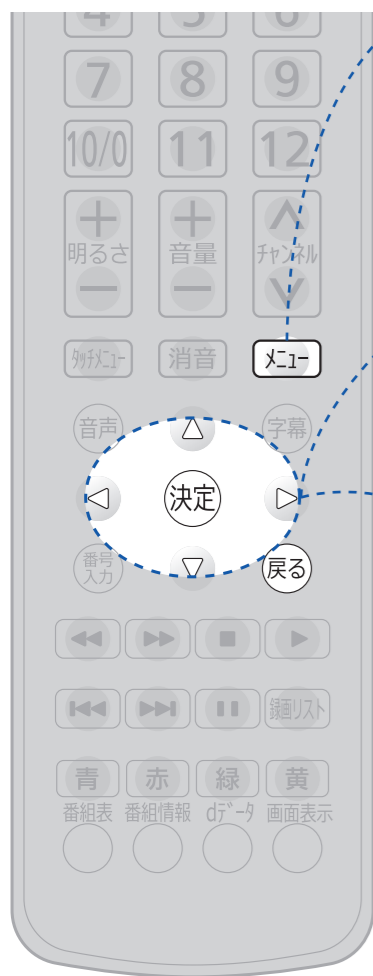
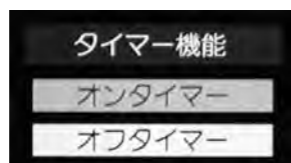
電源を自動で「入/切」する設定ができます。



1 モニターのメニューボタン、
またはリモコンの **メニュー** ボタンを押す

2 Δ / ∇ ボタンで「タイマー機能」を選び、
決定 ボタンを押す

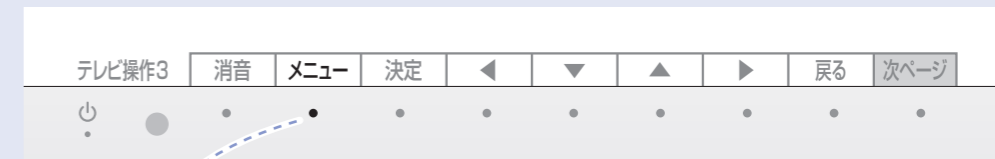
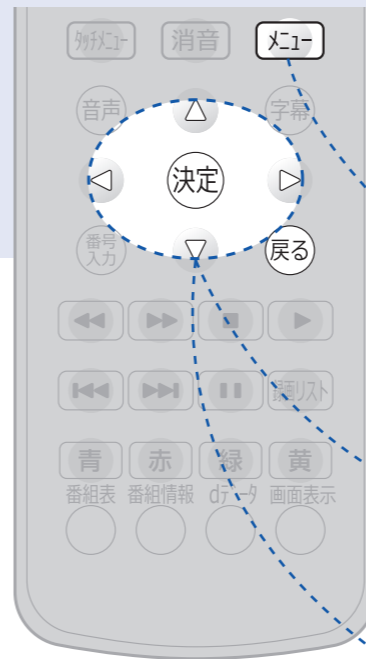
3 Δ / ∇ ボタンでお好みの設定を選び、
決定 ボタンを押す
設定後は **戻る** ボタンを押してください。



おしらせ

※ 工場出荷時にはオンタイマー/オフタイマーともに、「動作しない」の設定になっています。

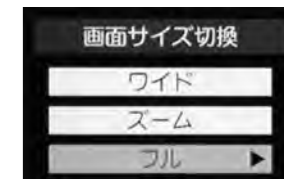
画面サイズを切り換える



1 モニターのメニューボタン、
またはリモコンの **メニュー** ボタンを押す

2 Δ / ∇ ボタンで「画面サイズ切換」を選び、
決定 ボタンを押す

3 お好みの画面サイズを選択し、
決定 ボタンを押す
設定後は **戻る** ボタンを押してください。



ワイド	ズーム	フル(工場出荷時)
左右に黒帯のある画像を、画面いっぱいに表示します。上下の映像が画面の外に隠れ、横伸びします。	上下左右に黒帯のある映像を画面いっぱいに表示します。	\triangleright ボタンを押して「ジャストスキャン」と「オーバースキャン」が選択できます。
		<p>ジャストスキャン 16:9の映像を画面内にすべて表示します。</p> <p>オーバースキャン 16:9の映像を少し大きめに表示します。</p>

おしらせ

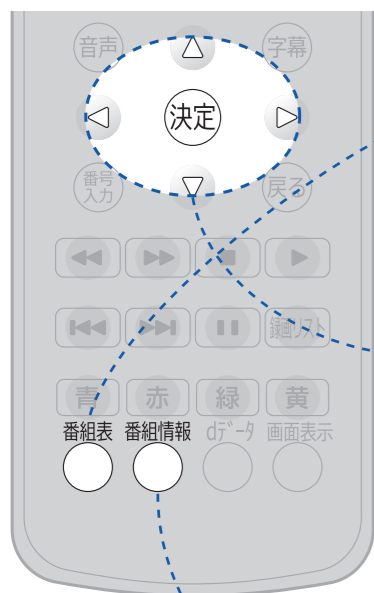
※ 60秒間操作しないとメニュー表示が消えます。
※ 画面比率や接続した外部機器の設定条件により表示内容は変わります。

番組を探す・見る

おしらせ

- ※ 受信状態によっては、番組表データを取得できない場合があります。その場合は、選んだ番組名の欄に「データがありません」と表示されます。リモコンの向きが悪い場合や、リモコン送信部・受光部が汚れている場合は、うまく動作しないことがあります。
- ※ 地上デジタル放送を視聴しているときは、視聴しているチャンネルの番組詳細のみが更新されます。
- ※ 電源ボタンを押した直後や、チャンネルを変更した直後は、データを取得できないため番組情報が表示されない場合があります。このようなときは、しばらくしてから操作してください。
- ※ 放送局の都合により、番組が変更になることがあります。このようなときは、実際の放送と表示される内容が一致しないことがあります。

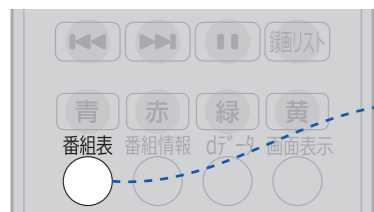
番組表から探して見る



- 1 モニターの番組表ボタン、またはリモコンの **番組表** ボタンを押す
 押すたびに次のように変わります。
 フル番組表 → ミニ番組表 → オフ → フル番組表 ...
- 2 **△▽◀▶** ボタンで番組を選び、**決定** ボタンを押す
 番組内容が表示されます。

■ 放送中の番組	■ 放送予定の番組
見る を押す	視聴予約 を押す
選んだ番組が映ります。	予約した番組は「予約リスト」に登録されます。
- 3 番組を見ているときに **番組情報** ボタンを押す
 番組説明が表示されます。約60秒で表示は消えます。
 表示を消すときは、再度、**番組情報** ボタンを押してください。

番組表の設定をする



- 1 モニターの番組表ボタン、またはリモコンの **番組表** ボタンを押す

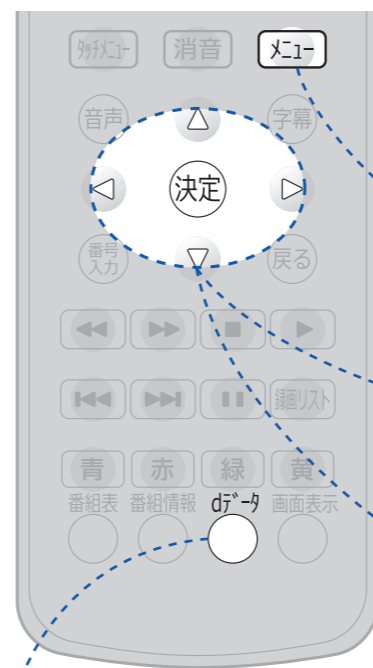


- 2 **メニュー** ボタンを押す
 番組表のメニューが表示されます。

番組説明	番組の説明が表示されます。
番組情報の取得	番組情報を取得します。
マルチ表示	番組表の表示の仕方を変更できます。
文字サイズ変更<小さく>	番組表の文字サイズを変更できます。
ジャンル色分け	ジャンルで色分けができます。
番組記号一覧	番組表にある記号の一覧です。
番組表表示設定	番組表の表示設定を変更できます。
予約リスト	視聴予約リストを確認できます。

※ < > は工場出荷時の設定を示します。

日時を指定予約して見る



- 1 モニターのメニューボタン、またはリモコンの **メニュー** ボタンを押す
- 2 「その他の操作」を選び、**決定** ボタンを押す
- 3 「予約リスト」を選び、**決定** ボタンを押す
青 ボタンで日時、チャンネルを指定して視聴予約ができます。



データ放送を見る

- 1 モニターのdデータボタン、またはリモコンの **dデータ** ボタンを押す

■データ放送を終了する場合①

1. リモコンの **dデータ** ボタンを押す

■データ放送を終了する場合②

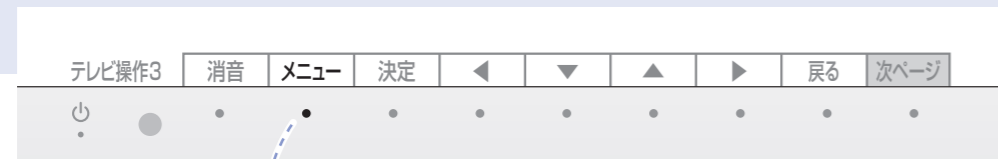
1. モニターのメニューボタン、またはリモコンの **メニュー** ボタンを押す
2. 「その他の操作」を選び、**決定** ボタンを押す
3. 「データ放送終了」を選び、**決定** ボタンを押す



字幕・文字スーパーを表示する

字幕を表示する

字幕放送の番組中に字幕を表示したり、消したりします。また、表示される言語を選択することができます。



■リモコンで選ぶ場合

① 字幕 ボタンを押す

押すたびに次のようになります。
日本語字幕 ↔ 字幕オフ

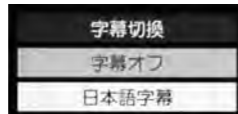
1 モニターのメニューボタン、またはリモコンの **メニュー** ボタンを押す

2 △▽ ボタンで「その他の操作」を選び、**決定** ボタンを押す

3 △▽ ボタンで「信号切換」を選び、**決定** ボタンを押す

4 △▽ ボタンで「字幕切換」を選び、**決定** ボタンを押す

5 △▽ ボタンで設定したい項目を選び、**決定** ボタンを押す

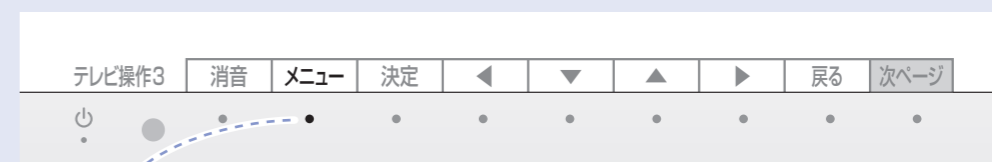


お知らせ

※ 番組によっては、字幕放送に対応していない場合があります。

文字スーパーを表示する

ニュース速報など視聴者にお知らせしたいことを番組放送中の画面に文字で表示します。



1 モニターのメニューボタン、またはリモコンの **メニュー** ボタンを押す

2 △▽ ボタンで「設定」を選び、**決定** ボタンを押す

3 △▽ ボタンで「初期設定」を選び、**決定** ボタンを押す

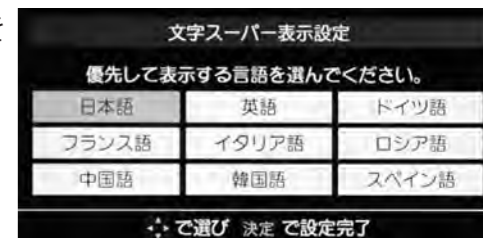
4 △▽ ボタンで「データ放送設定」を選び、**決定** ボタンを押す

5 △▽ ボタンで「文字スーパー表示設定」を選び、**決定** ボタンを押す

6 △▽ ボタンで「表示する」を選び、**決定** ボタンを押す

7 △▽◁▷ ボタンで設定したい言語を選び、**決定** ボタンを押す

設定後は **戻る** ボタンを押してください。

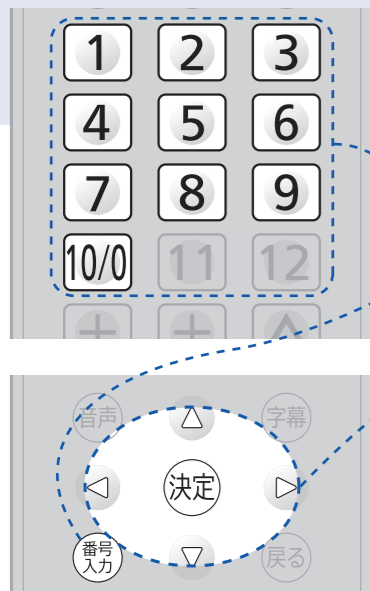


お知らせ

※ 文字スーパーの設定を「なし」に設定しても、緊急警報情報などのように強制的に表示するよう指示された文字スーパーを受信した場合は、文字スーパーを表示します。

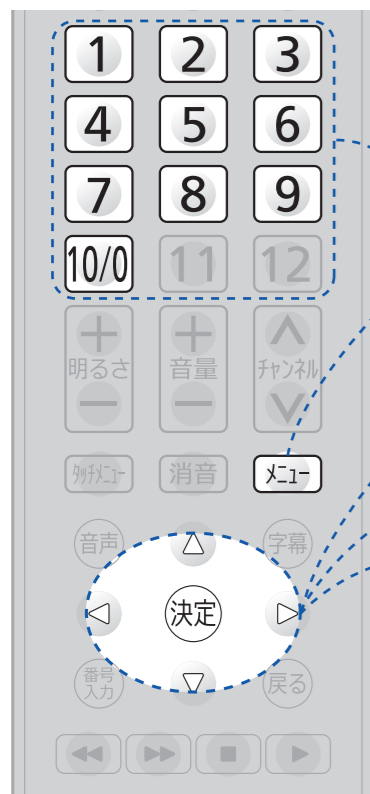
チャンネル番号を入力して番組を見る

リモコンから直接入力する場合



- 1 ①(番号入力) ボタンを押す
- 2 △▽ ボタンで地デジ、BS、CSを選ぶ
- 3 ① ~ ⑩(10/0) ボタンでチャンネル番号を入力する

メニューから選ぶ場合

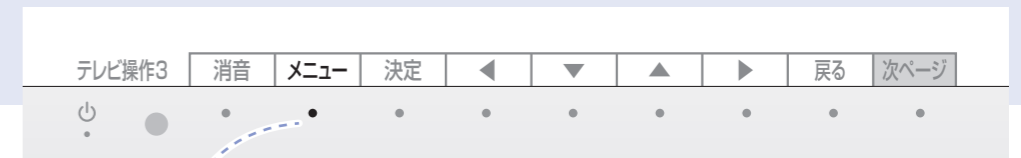
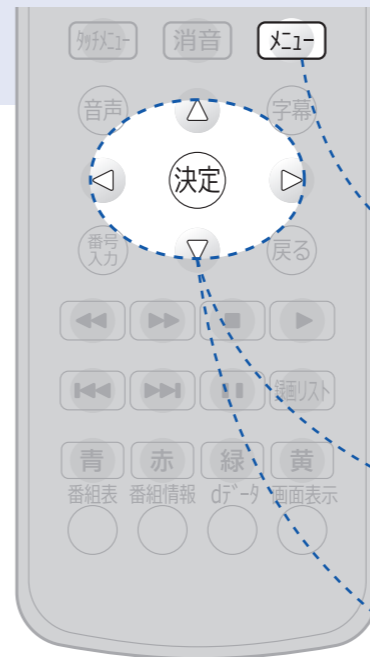


- 1 モニターのメニューボタン、またはリモコンの [メニュー] ボタンを押す
- 2 △▽ ボタンで「その他の操作」を選び、[決定] ボタンを押す
- 3 △▽ ボタンで「チャンネル番号入力」を選び、[決定] ボタンを押す
- 4 △▽ ボタンで地デジ、BS、CSを選ぶ
- 5 リモコンの ① ~ ⑩(10/0) ボタンでチャンネル番号を入力する

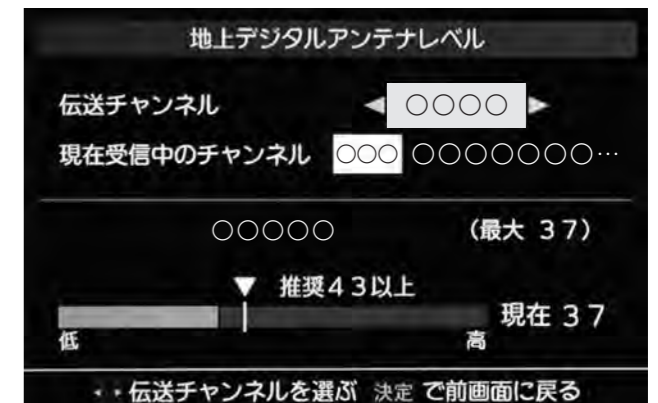
アンテナ設定をする

各放送局の受信レベルの目安を確認します。受信レベルは、天候、季節、地域、チャンネルなどにより異なります。また、アンテナシステムの条件などによって変動する場合がありますので、十分な余裕を取ることをおすすめします。お近くの電気店にご相談ください。

アンテナレベルを確認する



- 1 モニターのメニューボタン、またはリモコンの [メニュー] ボタンを押す
- 2 △▽ ボタンで「その他操作」を選び、[決定] ボタンを押す
- 3 △▽ ボタンで「アンテナレベル表示」を選び、[決定] ボタンを押す
各チャンネルのアンテナレベルが表示されます。確認後は [決定] ボタンを押してください。



現在のアンテナレベルが表示されます。
◀▶ボタンで他の放送局も確認できます。

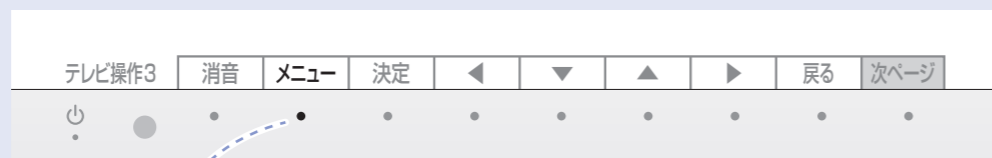
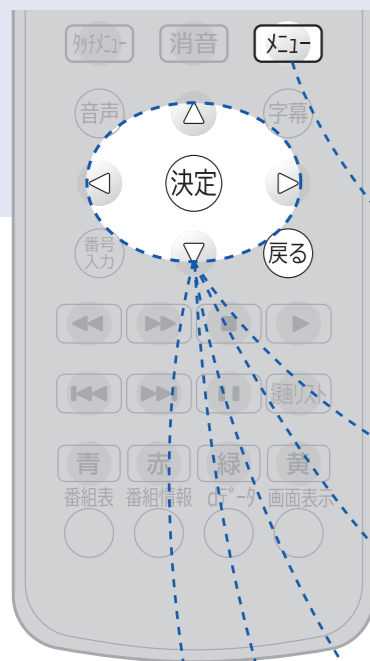
■BS、CSのアンテナレベルを確認する場合
「設定」→「初期設定」→「アンテナ設定」でもアンテナレベルを表示できます。

おしらせ

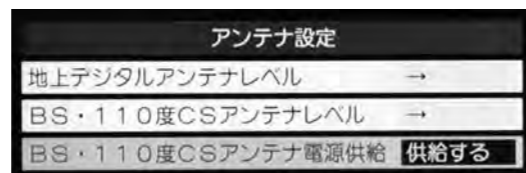
※ 表示される「アンテナレベル」はアンテナの方向調整などにお使いいただくための目安で、絶対的な電波の強さを示すものではありません。

アンテナ設定

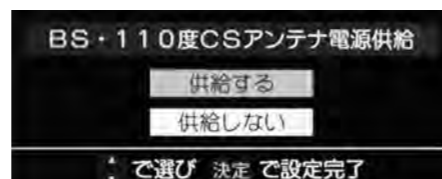
- BS・110度CS共用アンテナは電源を必要とします。
 - BS・CS/U・V混合器や分波器は電流通過型の物がが必要です。
- ※マンションなど共聴システム、BS・CS既視聴環境の場合は、本機より電源を供給する必要はないため、BS・110度CSアンテナ電源供給を「供給しない」に設定してください。



- 1 モニターのメニューボタン、またはリモコンの **メニュー** ボタンを押す
- 2 **△▽** ボタンで「設定」を選び、**決定** ボタンを押す
- 3 **△▽** ボタンで「初期設定」を選び、**決定** ボタンを押す
- 4 **△▽** ボタンで「アンテナ設定」を選び、**決定** ボタンを押す
- 5 **△▽** ボタンで「BS・110度CSアンテナ電源供給」を選び、**決定** ボタンを押す



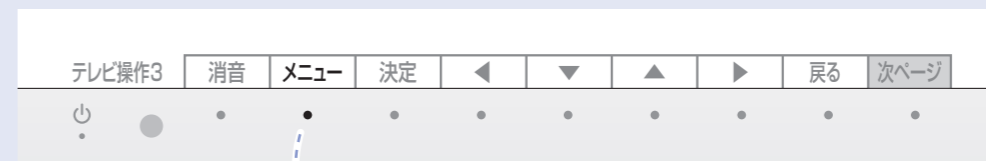
- 6 お好みの設定を選び、**決定** ボタンを押す
確認後は **戻る** ボタンを押してください。



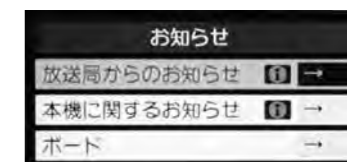
※工場出荷時は「供給する」に設定されています。



お知らせを見る

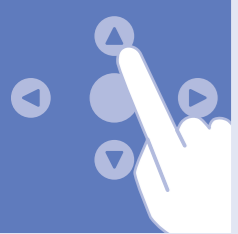


- 1 モニターのメニューボタン、またはリモコンの **メニュー** ボタンを押す
- 2 **△▽** ボタンで「その他の操作」を選び、**決定** ボタンを押す
- 3 **△▽** ボタンで「お知らせ」を選び、**決定** ボタンを押す
- 4 **△▽** ボタンで確認したいお知らせを選び、**決定** ボタンを押す
確認後は **戻る** ボタンを押してください。



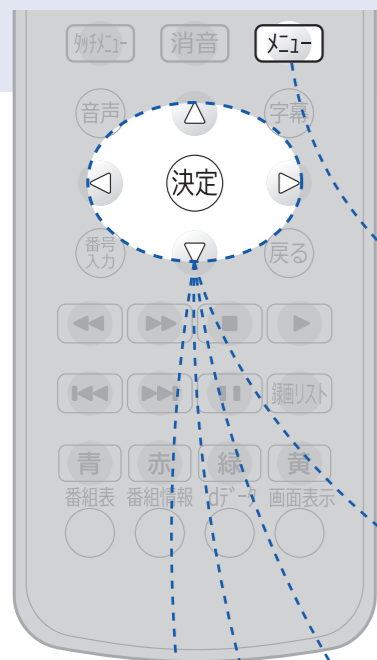
お知らせ

- ※ お知らせは最大8通まで保存され、以降、古い順に自動的に消去されますので、定期的にご確認ください。
- ※ お知らせは手動で削除することはできません。



ソフトウェアを自動ダウンロードする

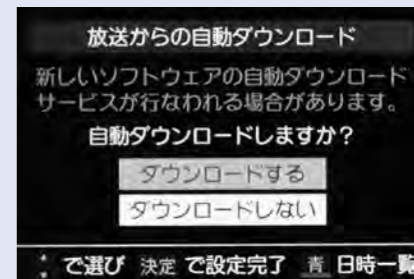
自動ダウンロードの設定



- 1 モニターのメニューボタン、またはリモコンの **メニュー** ボタンを押す
- 2 **△▽** ボタンで「設定」を選び、**決定** ボタンを押す
- 3 **△▽** ボタンで「初期設定」を選び、**決定** ボタンを押す
- 4 **△▽** ボタンで「ソフトウェアのダウンロード」を選び、**決定** ボタンを押す
- 5 **△▽** ボタンで「放送局からの自動ダウンロード」を選び、**決定** ボタンを押す

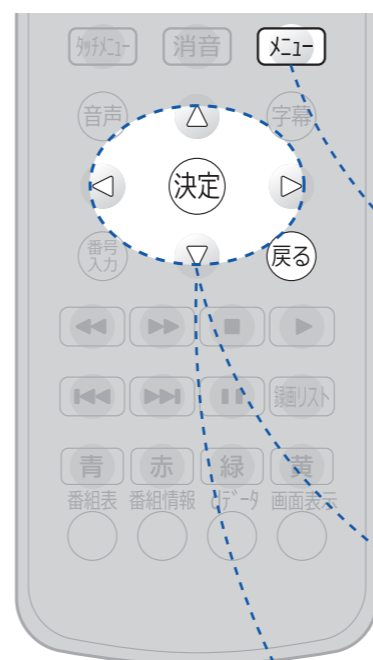


- 6 **△▽** ボタンで設定したい項目を選び、**決定** ボタンを押す
設定後は **戻る** ボタンを押してください。



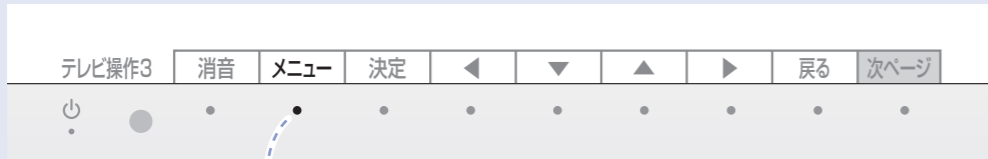
※工場出荷時は「ダウンロードする」に設定されています。

ソフトウェアバージョンを確認する



- 1 モニターのメニューボタン、またはリモコンの **メニュー** ボタンを押す
- 2 **△▽** ボタンで「その他の操作」を選び、**決定** ボタンを押す
- 3 **△▽** ボタンで「ソフトウェアバージョン」を選び、**決定** ボタンを押す
確認後は **戻る** ボタンを押してください。

省エネ設定をする



1 モニターのメニューボタン、
またはリモコンの **メニュー** ボタンを押す



2 Δ ∇ ボタンで「設定」を選び、
決定 ボタンを押す

3 Δ ∇ ボタンで「機能設定」を選び、
決定 ボタンを押す

4 Δ ∇ ボタンで「省エネ設定」を選び、
決定 ボタンを押す
省エネ設定のメニューが表示されます。
設定後は **戻る** ボタンを押してください。

項目	調整内容
節電モード(標準)	バックライトの明るさを調整し消費電力をお好みに調整できます。 「標準」「減1」「減2」から選択します。
番組情報取得設定(取得する)	電源待機時に地上デジタル放送の番組情報を自動的に取得します。 「取得する」「取得しない」を選択します。
無操作自動電源オフ(動作しない)	テレビの無操作状態が約3時間続くと、電源が切れます。 「待機にする」:切れます 「動作しない」:切れません を選択します。
オンエア無信号オフ(待機にする)	放送受信時に、無信号状態が約15分間続くと、電源が切れます。 「待機にする」:切れます 「動作しない」:切れません を選択します。
外部入力無信号オフ(待機にする)	外部入力選択時に、無信号状態が約15分間続くと、電源が切れます。 「待機にする」:切れます 「動作しない」:切れません を選択します。

※〈 〉は工場出荷時の設定を示します。

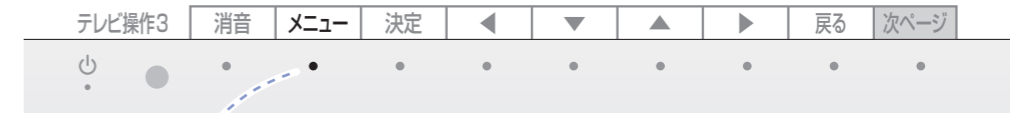
暗証番号を設定 (視聴制限)する

数字4桁を暗証番号として設定します。
地上デジタル放送の設定内容(⇒9、10ページ)を初期状態に戻すとき(⇒50、51ページ)に必要となります。

お願い

- ※ 暗証番号は視聴を制限する機能の設定や視聴制限の解除に必要です。
- ※ 暗証番号を変更する場合は、変更した暗証番号をメモするなどして忘れないようにしてください。

暗証番号を設定する



1 モニターのメニューボタン、
またはリモコンの **メニュー** ボタンを押す

2 Δ ∇ ボタンで「設定」を選び、
決定 ボタンを押す

3 Δ ∇ ボタンで「機能設定」を選び、
決定 ボタンを押す

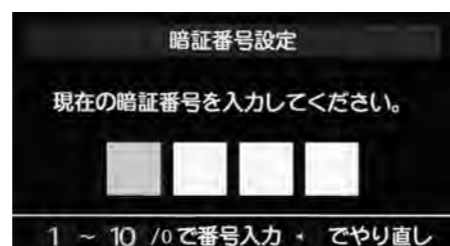
4 Δ ∇ ボタンで「視聴制限設定」を選び、
決定 ボタンを押す

暗証番号を設定 (視聴制限)する(つづき)



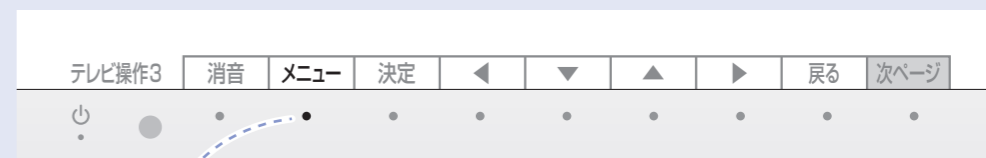
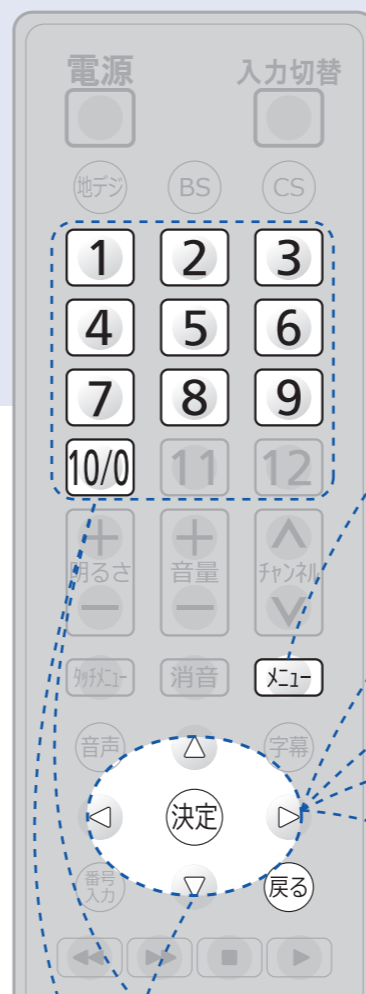
5 △▽ ボタンで「暗証番号設定」を選び、
決定 ボタンを押す

6 新規に登録する暗証番号(数字4桁)
をリモコンの 1 ~ 10/0 ボタンで
入力する



7 確認のため、もう一度入力し、
決定 ボタンを押す
設定後は 戻る ボタンを押してください。

暗証番号を変更する



1 モニターのメニューボタン、
またはリモコンの メニュー ボタンを押す

2 △▽ ボタンで「設定」を選び、
決定 ボタンを押す

3 △▽ ボタンで「機能設定」を選び、
決定 ボタンを押す

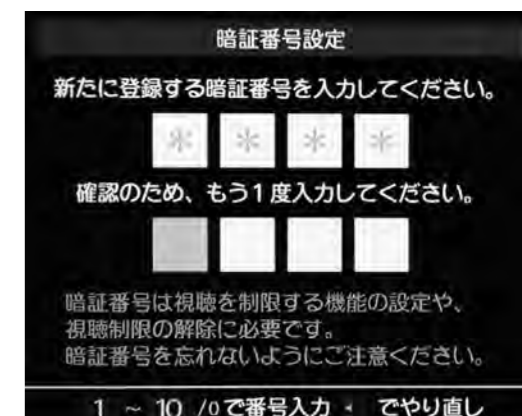
4 △▽ ボタンで「視聴制限設定」を選び、
決定 ボタンを押す

5 △▽ ボタンで「暗証番号設定」を選び、
決定 ボタンを押す

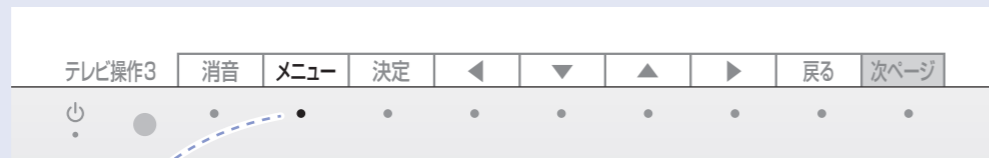
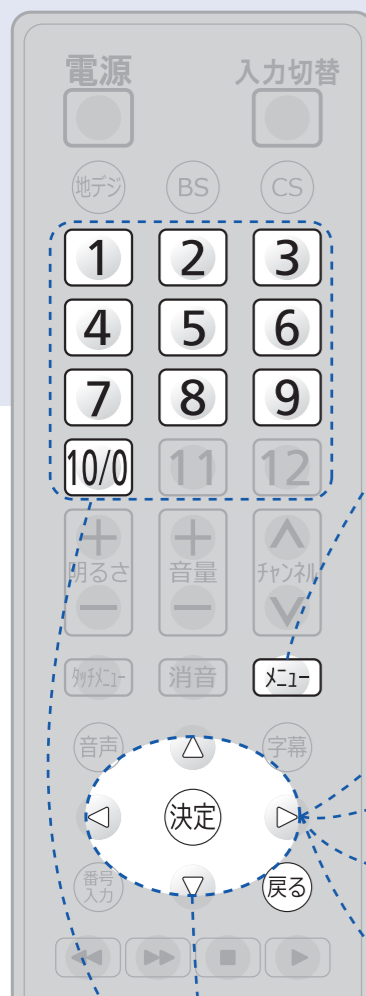
6 現在設定されている暗証番号(数字
4桁)をリモコンの 1 ~ 10/0 ボタン
で入力する

7 変更する暗証番号(数字4桁)をリモコン
の 1 ~ 10/0 ボタンで入力する

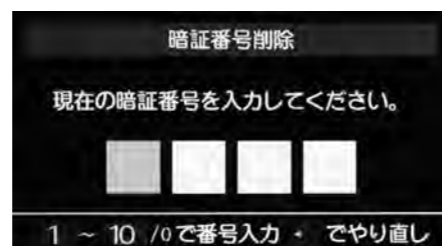
8 確認のため、もう一度入力し、
決定 ボタンを押す
設定後は 戻る ボタンを押してください。



暗証番号を削除する



- 1 モニターのメニューボタン、
またはリモコンの **メニュー** ボタンを押す
- 2 **△▽** ボタンで「設定」を選び、
決定 ボタンを押す
- 3 **△▽** ボタンで「機能設定」を選び、
決定 ボタンを押す
- 4 **△▽** ボタンで「視聴制限設定」を選び、
決定 ボタンを押す
- 5 **△▽** ボタンで「暗証番号削除」を選び、
決定 ボタンを押す
- 6 現在設定されている暗証番号(数字
4桁)をリモコンの **1** ~ **10/0** ボタンで
入力する



- 7 **△▽** ボタンで「はい」を選び、
決定 ボタンを押す
設定後は **戻る** ボタンを押してください。



外部機器を接続する (オプション)

外部機器のコントロールについて

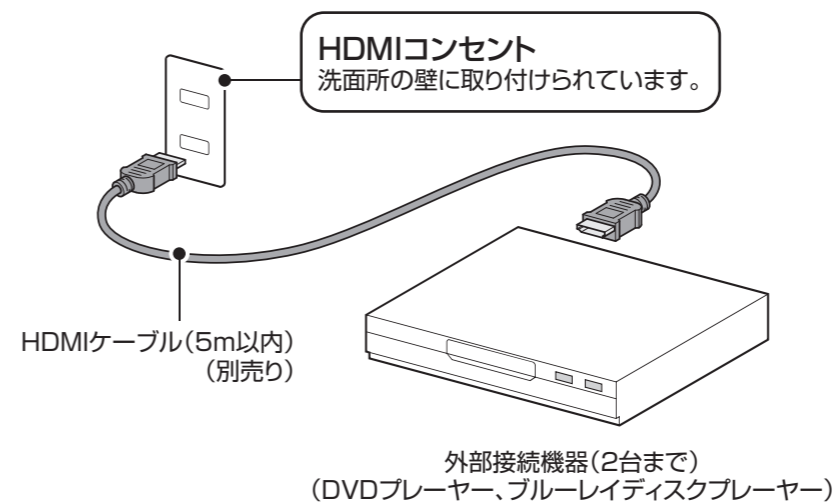
浴室テレビのリモコンで、HDMIケーブルで接続した外部機器を操作(電源、チャンネル、停止、再生、早戻し、早送りなど)することができます。

※お手持ちの外部機器によっては操作できない機能や、メニュー操作など機能の一部が正しく操作できない機種もあります。その場合には、浴室外に設置した外部機器から操作を行ってください。

※HDMI出力端子のない外部機器は、接続できません。

●HDMIケーブルはパナソニック製、RP-CHE50(5m)を推奨します。

【設置例】



お願い

※ HDMIケーブルは別途ご購入ください。

外部機器を見る

お願い

- ※ 浴室テレビのリモコンで外部機器を操作する場合、本機の動作時間に外部機器の動作時間がプラスされます。リモコンのボタンを操作してからテレビの画面が反応するまで、時間がかかりますが故障ではありません。
- ※ 画面表示が「HDMI1」のときはHDMI1に接続した機器、「HDMI2」のときはHDMI2に接続した機器の操作が可能です。

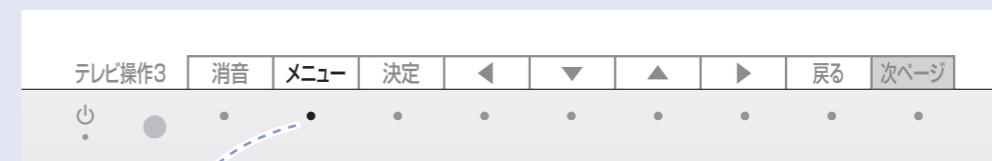
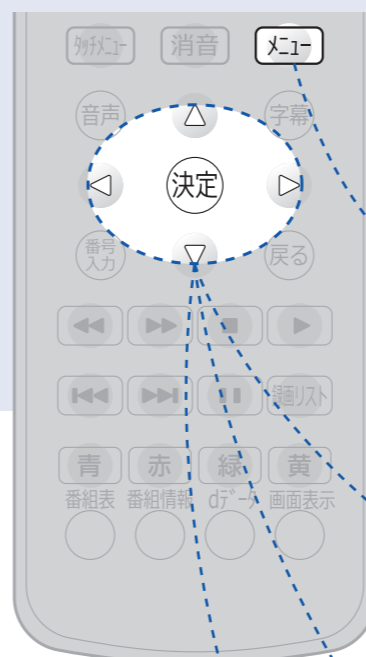


- 1 モニターの入力切替ボタン、またはリモコンの **入力切替** ボタンを押し、「HDMI1」または「HDMI2」を選ぶ
押すたびに次のように変わります。
地デジ (BS・CS) → HDMI1 → HDMI2
→ 地デジ (BS・CS) …

外部機器の操作

- 1 外部機器の電源を入れる
- 2 外部機器操作ボタンで、外部機器を操作する
 - 外部機器操作の設定を変更する
HDMI連動の設定を変更することができます。(→37ページ)
 - 画質や音質などをお好みに調整する
外部機器を見る場合も、「映像設定」、「音声設定」の各機能が使用できます。(→14～16ページ)

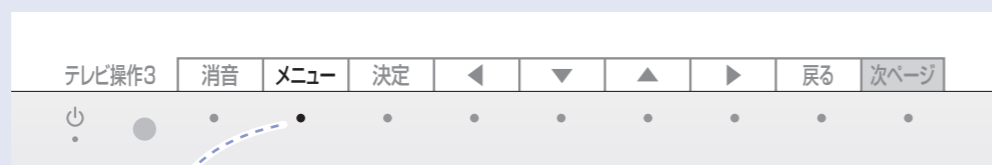
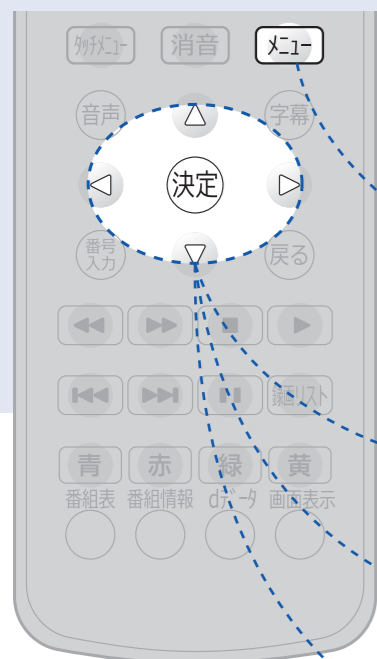
外部入力の設定をする



- 1 モニターのメニューボタン、またはリモコンの **メニュー** ボタンを押し
- 2 Δ / ∇ ボタンで「設定」を選び、**決定** ボタンを押し
- 3 Δ / ∇ ボタンで「機器設定」を選び、**決定** ボタンを押し
- 4 Δ / ∇ ボタンで「外部入力設定」を選び、**決定** ボタンを押し
外部入力設定メニューが表示されます。

外部入力表示設定	入力切換の表示を変更します。 ブルーレイ / DVD / VTR / CATV / ゲーム / チューナー / PC / ムービーカメラ / 表示しない
外部入力スキップ設定	入力切換のスキップを「する」「しない」を設定します。
RGBレンジ設定	RGBレンジを自動識別できない機能を接続している場合は機器の仕様に合わせてください。 オート:自動識別します。 フルレンジ:RGBレンジ16～235の場合に選択します。 リミテッドレンジ:RGBレンジ0～255の場合に選択します。
ビデオ音声入力設定	この機種では利用できません。

外部機器の設定をする



- 1 モニターのメニューボタン、
またはリモコンの **メニュー** ボタンを押す
- 2 Δ ∇ ボタンで「設定」を選び、
決定 ボタンを押す
- 3 Δ ∇ ボタンで「外部機器設定」を選び、
決定 ボタンを押す
- 4 Δ ∇ ボタンで「HDMI連動設定」を選び、
決定 ボタンを押す
HDMI連動設定メニューが表示されます。

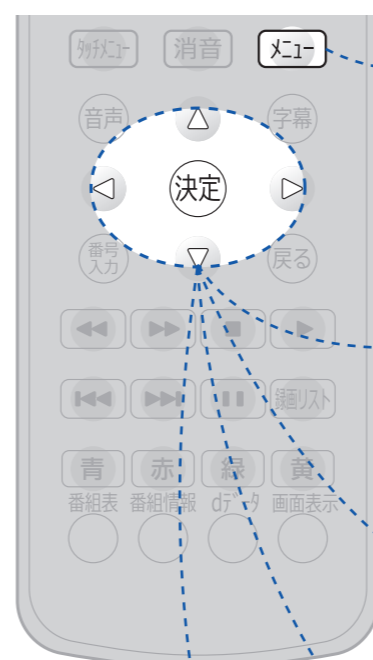
USBハードディスク設定	この機種では利用できません。	
録画再生設定	この機種では利用できません。	
HDMI 連動設定	HDMI連動機能<使用する>	この機種のリモコンで外部機器操作ができます。
	HDMI連動機器リスト	1台以上のHDMI連動機器を接続するとき、接続されたHDMI機器を表示します。 ※表示されていない場合 [赤]を押すとHDMI機器が表示されます。(機器の電源を「入」にする必要があります。)
	リモコン動作モード <連動機器優先>	リモコン動作モードに対応したレコーダーを接続している場合、「連動機器優先」に設定すると本機のリモコンでレコーダーを操作できる機能が増えます。
	連動機器→テレビ入力切替 <連動しない>	連動機器の再生操作をしたときに、本機が自動的に入力切替をして、その機器の選択をする機能です。(本機の電源「入」の時)
	連動機器→テレビ電源<連動しない>	連動機器の電源を入れた時に、本機の電源が入ります。
	テレビ→連動機器電源オフ<連動しない>	本機の電源を切ったときに、連動機器の電源が切れます。
	PC映像連動	この機種では利用できません。
	AVシステム連動	この機種では利用できません。
	AVシステム音声連動	この機種では利用できません。
	優先スピーカー	この機種では利用できません。
AVシステム音声入力設定	この機種では利用できません。	

※接続される外部機器により、本機のリモコンとタッチキーから操作できない機種や、機器の一部(メニュー操作など)が正しく操作できない機種、連動設定が動かない機種があります。その場合は、浴室外の設置機器のリモコンで操作を行ってください。
※<>は工場出荷時の設定を示します。

チャンネルを追加する

次のような場合に使用してください。

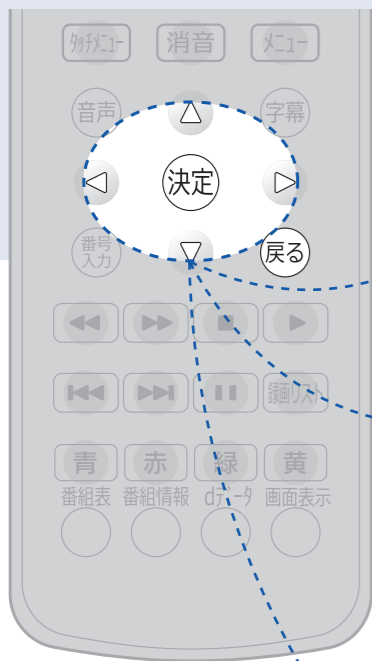
- 新しい放送局が開局した。
- 受信環境が改善され、受信できる放送局が増えた。



- 1 モニターのメニューボタン、
またはリモコンの **メニュー** ボタンを押す
- 2 Δ ∇ ボタンで「設定」を選び、
決定 ボタンを押す
- 3 Δ ∇ ボタンで「初期設定」を選び、
決定 ボタンを押す
- 4 Δ ∇ ボタンで「チャンネル設定」を
選び、**決定** ボタンを押す
- 5 Δ ∇ ボタンで「地上デジタル自動設定」
を選び、**決定** ボタンを押す

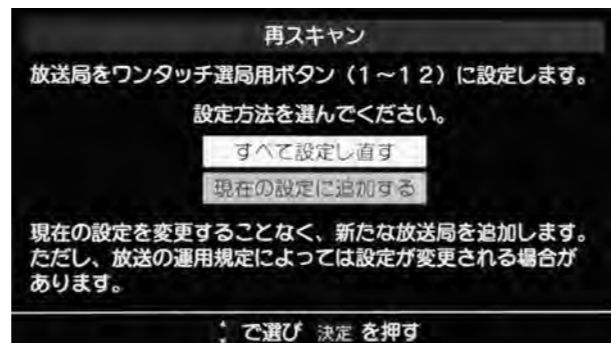


チャンネルを追加する (つづき)



6 △▽ ボタンで「再スキャン」を選び、
Ⓢ ボタンを押す
自動でスキャンが始まります。

7 お好みの設定方法を選び、
Ⓢ ボタンを押す



8 △▽ ボタンで「はい」を選び、
Ⓢ ボタンを押す
正しく設定されていることを画面で確認後、
Ⓢ ボタンを押してください。
設定後は Ⓢ ボタンを押してください。

お願い

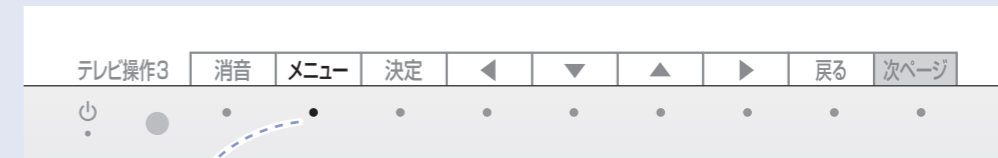
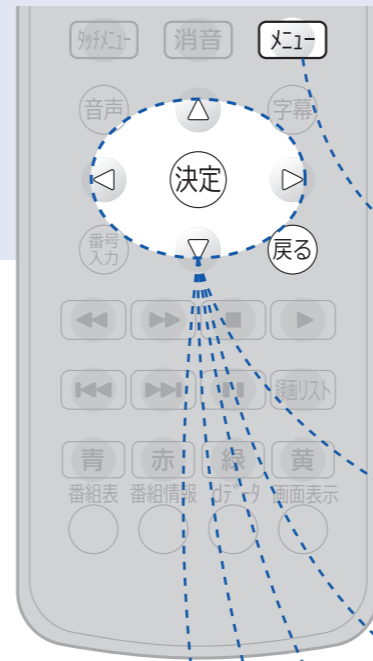
※ 手順6で「初期スキャン」を選んで行くと地上デジタル放送に関するチャンネル設定が全て消去されます。ご注意ください。

おしらせ

※ チャンネル追加後も、「地域設定とチャンネル自動設定」(➡9、10ページ)で登録済みのチャンネルに変更はありません。
※ チャンネル追加設定をすると、「チャンネルスキップ」の設定内容がリセットされます。再度、設定してください。



チャンネルスキップを設定する



1 モニターのメニューボタン、
またはリモコンの **メニュー** ボタンを押す

2 △▽ ボタンで「設定」を選び、
Ⓢ ボタンを押す

3 △▽ ボタンで「初期設定」を選び、
Ⓢ ボタンを押す

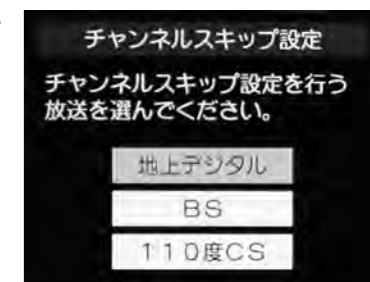
4 △▽ ボタンで「チャンネル設定」を選び、
Ⓢ ボタンを押す

5 △▽ ボタンで「チャンネルスキップ設定」
を選び、Ⓢ ボタンを押す

6 △▽ ボタンでチャンネルスキップ設定
したい放送を選び、Ⓢ ボタンを押す
設定後は Ⓢ ボタンを
押してください。

おしらせ

※ チャンネルスキップを設定した放送局のチャンネル数字ボタンを操作した場合、「このボタンは登録されていません」という表示が出ます。
※ チャンネル △▽ ボタンを操作した場合も、チャンネルスキップを設定した放送局は選局できません。



通信設定をする

お知らせ

※ お買い上げ時の設定でインターネットが利用できない場合やネットワークの設定をし直す場合などに、必要に応じて設定します。

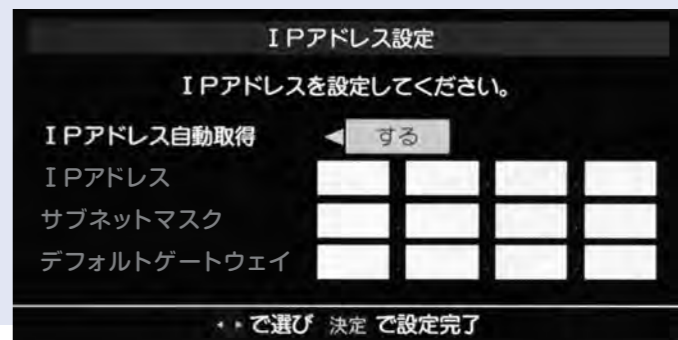
IPアドレス設定をする

インターネットに接続するために、本機に割り当てられる固有の番号を設定します。

- 1 モニターのメニューボタン、またはリモコンの **メニュー** ボタンを押す
- 2 **設定** ボタンで「設定」を選び、**決定** ボタンを押す
- 3 **初期設定** ボタンで「初期設定」を選び、**決定** ボタンを押す
- 4 **通信設定** ボタンで「通信設定」を選び、**決定** ボタンを押す
- 5 **IPアドレス設定** ボタンで「IPアドレス設定」を選び、**決定** ボタンを押す



6 <> ボタンで「する」を選ぶ



※工場出荷時には「する」に設定されています。

お知らせ

※ 「IPアドレス自動取得」を「しない」に設定した場合は、「DNS設定」の「DNSアドレス自動取得」は、自動的に「しない」に設定されます。その場合は、DNSアドレスを手動で設定します。

■自動取得できないネットワーク環境の場合



- 1 「IPアドレス自動取得」で「しない」を選ぶ
- 2 「IPアドレス」を選び、リモコンの **1** ~ **10/0** ボタンで入力する
0~255の範囲で数字(左端の欄は0以外)を4か所の欄に入力してください。
- 3 「サブネットマスク」と「デフォルトゲートウェイ」も同様に入力する
- 4 **決定** ボタンを押す

DNS設定をする

DNS(ドメインネームシステム)は、ドメイン名をIPアドレスに置き替える機能を持ちます。IPアドレスで特定されているDNSサーバーを設定します。



1 モニターのメニューボタン、
またはリモコンの **メニュー** ボタンを押す

2 △▽ ボタンで「設定」を選び
決定 ボタンを押す

3 △▽ ボタンで「初期設定」を選び
決定 ボタンを押す

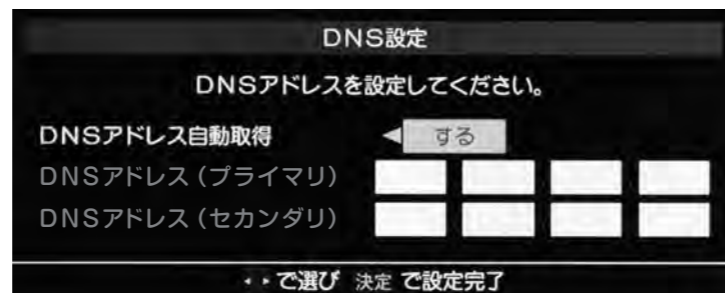
4 △▽ ボタンで「通信設定」を選び
決定 ボタンを押す

5 △▽ ボタンで「DNS設定」を選び
決定 ボタンを押す

6 ◀▶ ボタンで「する」を選ぶ

お知らせ

※ 「IPアドレス自動取得」を「しない」に設定した場合は、「DNSアドレス自動取得」は自動的に「しない」に設定され、「する」にはできません。その場合は、DNSアドレスを手動で設定します。



※工場出荷時には「する」に設定されています。

■自動取得できないネットワーク環境の場合



1 「DNSアドレス自動取得」で「しない」を選ぶ

2 「DNSアドレス(プライマリ)」を選び、
リモコンの **1** ~ **10/0** ボタンで入力する
0~255の範囲で数字(左端の欄は0以外)を4か所の欄に入力してください。

3 「DNSアドレス(セカンダリ)」も同様に
入力する

4 決定 ボタンを押す

プロキシ設定をする

インターネットとの接続時にプロキシ(代理)サーバーを経由する場合に設定します。

- 1 モニターのメニューボタン、
またはリモコンの **メニュー** ボタンを押す
- 2 Δ / ∇ ボタンで「設定」を選び、
決定 ボタンを押す
- 3 Δ / ∇ ボタンで「初期設定」を選び、
決定 ボタンを押す
- 4 Δ / ∇ ボタンで「通信設定」を選び、
決定 ボタンを押す
- 5 Δ / ∇ ボタンで「プロキシ設定」を選び、
決定 ボタンを押す
- 6 Δ / ∇ ボタンで「使用する」を選び、
決定 ボタンを押す

おしらせ

- ※ ご契約のプロバイダーから指定がある場合にだけ設定します。
- ※ ここでのプロキシ設定はHTTPに関するものです。

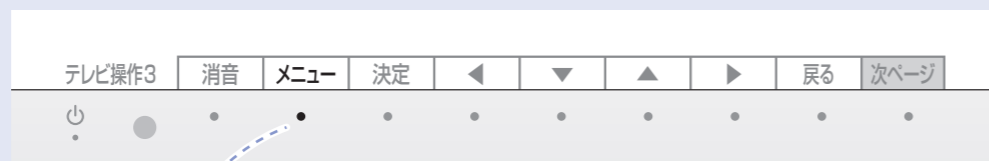
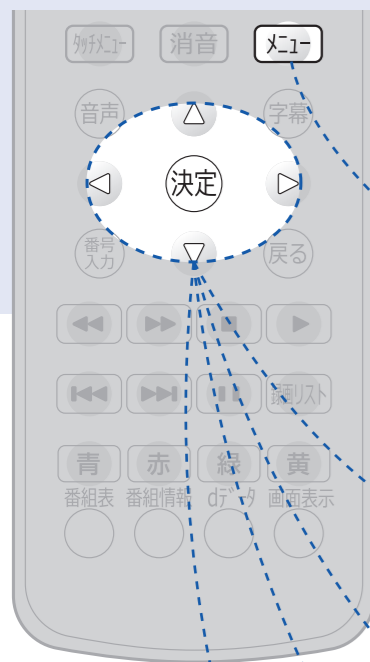
MACアドレスを確認する

ネットワーク上に接続されている機器を識別するために本機に割り当てられている番号です。

- 1 モニターのメニューボタン、
またはリモコンの **メニュー** ボタンを押す
- 2 Δ / ∇ ボタンで「設定」を選び、
決定 ボタンを押す
- 3 Δ / ∇ ボタンで「初期設定」を選び、
決定 ボタンを押す
- 4 Δ / ∇ ボタンで「通信設定」を選び、
決定 ボタンを押す
- 5 Δ / ∇ ボタンで「MACアドレス」を選び、
決定 ボタンを押す
確認後は **戻る** ボタンを押してください。

接続テストをする

「通信設定」が正しいかテストします。



1 モニターのメニューボタン、
またはリモコンの **メニュー** ボタンを押す

2 **△▽** ボタンで「設定」を選び、
決定 ボタンを押す

3 **△▽** ボタンで「初期設定」を選び、
決定 ボタンを押す

4 **△▽** ボタンで「通信設定」を選び、
決定 ボタンを押す

5 **△▽** ボタンで「接続テスト」を選び、
決定 ボタンを押す

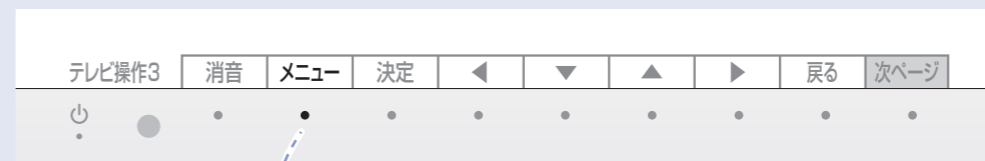
■「インターネットに接続できました。」と
表示された場合
「終了」を選び、**決定** ボタンを押す

■正しく接続できなかった場合
「再テスト」を選ぶ

接続テスト結果画面が表示されます。
再テストを行っても接続できない場合は、
「通信設定」を選んで **決定** ボタンを押し、
設定をやり直してください。



B-CASカードの動作 を確認する

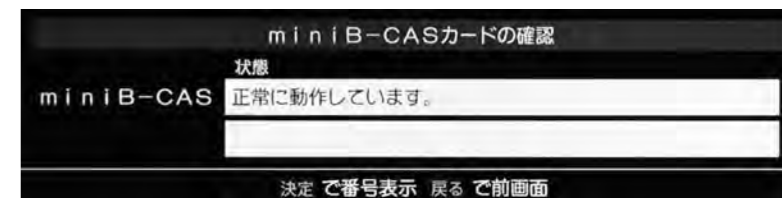


1 モニターのメニューボタン、
またはリモコンの **メニュー** ボタンを押す

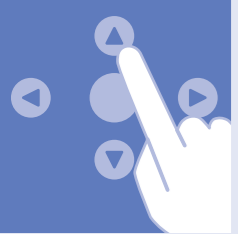
2 **△▽** ボタンで「設定」を選び、
決定 ボタンを押す

3 **△▽** ボタンで「初期設定」を選び、
決定 ボタンを押す

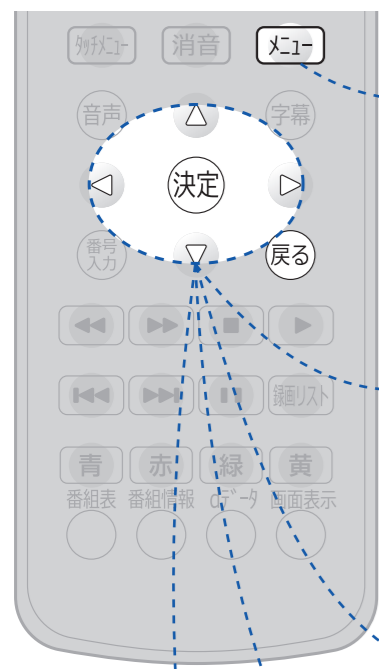
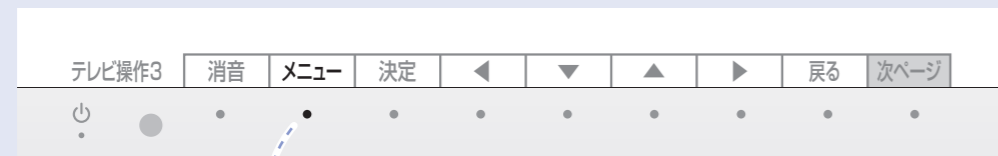
4 **△▽** ボタンで「miniB-CASカードの確認」
を選び、**決定** ボタンを押す
確認後は **戻る** ボタンを押してください。



■「エラーが見つかりました」と表示されたとき
修理依頼をしてください。(➡裏表紙)



B-CASカードの番号を確認する

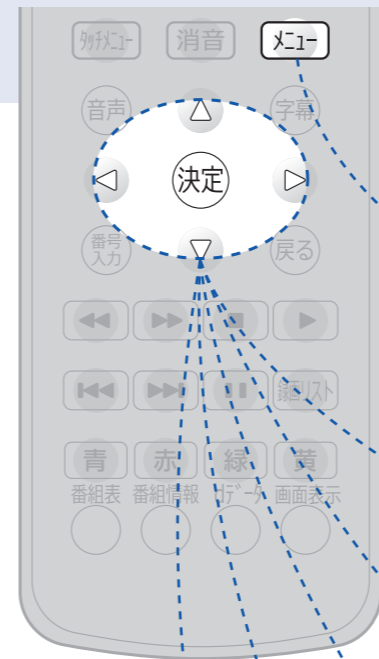
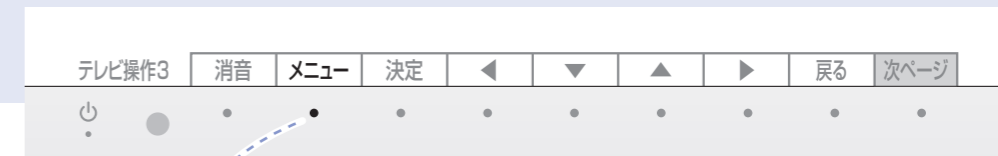


- 1** モニターのメニューボタン、またはリモコンの **メニュー** ボタンを押す
- 2** **△▽** ボタンで「設定」を選び、**決定** ボタンを押す
- 3** **△▽** ボタンで「初期設定」を選び、**決定** ボタンを押す
- 4** **△▽** ボタンで「miniB-CASカードの確認」を選び、**決定** ボタンを押す
- 5** 再度 **決定** ボタンを押す
確認後は **戻る** ボタンを押してください。



テレビの設定を初期化する

設定項目を初期化する



- 1** モニターのメニューボタン、またはリモコンの **メニュー** ボタンを押す
- 2** **△▽** ボタンで「設定」を選び、**決定** ボタンを押す
- 3** **△▽** ボタンで「初期設定」を選び、**決定** ボタンを押す
- 4** **△▽** ボタンで「設定の初期化」を選び、**決定** ボタンを押す
- 5** **△▽** ボタンで「初期化1」か「初期化2」を選び、**決定** ボタンを押す
- 6** **△▽** ボタンで「はい」を選び、**決定** ボタンを押す

お買い上げ時の設定に初期化する

- 1 モニターのメニューボタン、またはリモコンの **メニュー** ボタンを押す
- 2 **△▽** ボタンで「設定」を選び、**決定** ボタンを押す
- 3 **△▽** ボタンで「初期設定」を選び、**決定** ボタンを押す
- 4 **△▽** ボタンで「設定の初期化」を選び、**決定** ボタンを押す
- 5 **△▽** ボタンで「すべての初期化」を選び、**決定** ボタンを押す
- 6 **△▽** ボタンで「はい」を選び、**決定** ボタンを押す

お願い

※ 初期化後は、電源を切ってください。

初期化の内容

初期化1	以下の項目以外の設定項目を初期化します。 ・「チャンネル設定」 ・「視聴制限設定」の「暗証番号設定」、「放送視聴制限設定」
初期化2	以下の項目以外の設定項目を初期化します。 ・「視聴制限設定」の「暗証番号設定」、「放送視聴制限設定」（初期化2を行うと地上デジタル放送の再スキャンが必要になります。）再スキャンの方法については、「電源」オフ→約1分後→「電源」オン以降は「地上デジタル放送の受信設定をする」P.9、10を参照してください。
すべての初期化	本機に設定されたすべての内容をお買い上げ時の状態に戻します。

お手入れについて

きれいな画面を保つには

画面を指で触らないようにしてください。

入浴後、毎日やわらかい布で水滴を拭き取り、水あかがつかないようにしておくときれいな画面を保てます。

指紋や水あかがついてしまったら

水でうすめた浴室用中性洗剤に布をひたし、固く絞って拭き取り、その後、乾いたやわらかい布で水滴を拭き取ってください。



石鹸、シャンプーや洗剤などがかかってしまったら

軽く絞った布でよく拭き、その後、乾いたやわらかい布で水滴を拭き取ってください。放置すると水あかや石けんカスなどがつき、画面が見にくくなったり故障の原因となります。

⚠ 注意

- 禁止** お手入れの際、画面を強く押ししたり、強くこすったりしない
画面に傷がついたり、映像に色むらが出たりして、故障の原因となります。
- 禁止** お手入れの際、スピーカー部を先のとがったもので掃除しない
スピーカーの防水機能が損なわれ、故障の原因となります。
- 禁止** 以下の洗剤、用品などは使用しない
製品に不具合が生じたり、使用方法によっては人体に影響を及ぼすおそれもあります。

- 「酸性」の表示のある洗剤、洗浄剤、漂白剤
- 「アルカリ性」の表示のある洗剤、洗浄剤、漂白剤
- クレンザー（粉末や研磨力のあるもの）
- 薬品（塩酸など）
- 溶剤（シンナー、アセトンなど）
- みがき粉
- ナイロンたわし/金属たわし
- ナイロン不織布/ナイロンネット付スポンジ
- サンドペーパー
- その他先のとがったもの



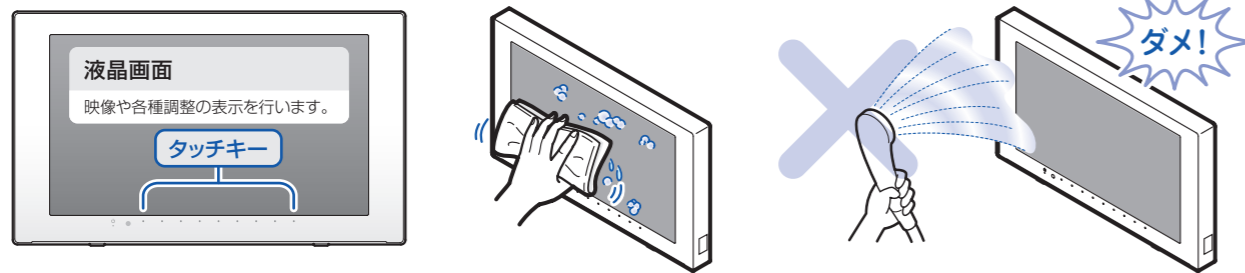


故障かな?と思ったら

以下の事象やエラー表示は故障ではありません

1 TVが勝手に反応する

モニターに水あかが付いた場合、濡らしてよく絞ったやわらかい布で拭いてください。水滴が付きやすくなり、タッチキーを指で押したと判断して誤反応する可能性があります。



2 B-CASカードに関するエラー表示

ブレーカーの電源をOFFにしてエラー解除できなければ、点検を依頼してください。

3 TVから音が出ない(浴室オーディオを設置している場合)

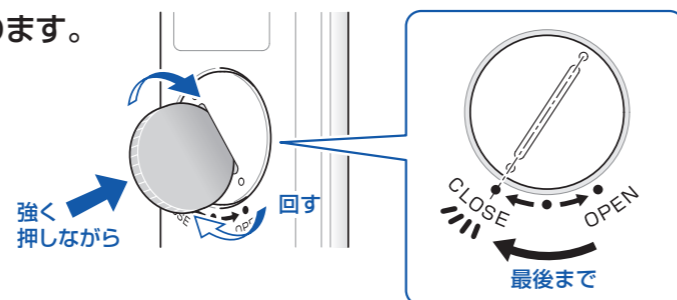
※詳細はP.16「音質を調整する」を参照してください。

通常モード(工場出荷時)は、浴室オーディオのみから音が出ます。設定を変更することにより、テレビとオーディオの両方から音を出すこともできます。

TOTOメンテナンスにおいても
点検を承りますが有料作業となります。

リモコンに関するご注意 ※詳細はP.7「リモコンの準備」を参照してください。

電池のふたは、確実に閉めてください。
リモコン内部に水が入ると、故障の原因となります。



- 修理を依頼される前には、下記の表に従って点検されることをおすすめします。
- 下記の対応をしても直らないときは、修理を依頼してください。

	現象	原因	処置方法	ページ
共通事項	映像が揺れる、映像が不鮮明、色模様が出たり色が消える、画面にはん点が出たり画面が揺れる、音声に雑音が入る	高圧線、ネオン、自動車、電車などからの影響を受けている。	雑音電波の原因である製品などを離してください。	-
		他の電気製品から雑音電波が出ている。	雑音電波の原因である電気製品などを離してください。	-
	映像が尾を引く	本体温度が低い。	故障ではありません。本体温度が上がるとともに戻りますので、しばらくお待ちください。	-
	画面に光る点、光らない点がある	液晶パネルは非常に精密度の高い技術で作られています。画面の一部に光らない点や常時点灯する点が存在する場合があります。	故障ではありません。あらかじめご了承ください。	-
	映像が明るい	明るさの調節がずれている。	お好みの明るさに調節してください。	14 15
	映像が暗い	明るさの調節がずれている。	お好みの明るさに調節してください。	14 15
		浴室内の気温が低い。	故障ではありません。本体温度が上がると元に戻りますので、しばらくお待ちください。	-
	画面がくもる	表面に水滴が付着し、本体内部の空気が冷やされることで結露している。	故障ではありません。やわらかい布で水滴をふきとり、しばらく放置することで自然に解消されます。	-
	音が出ない	〈浴室オーディオと接続されている場合〉浴室オーディオのリモコンの電源が入っていない。	浴室オーディオのリモコンの電源を入れてください。	-
		〈浴室オーディオと接続されている場合〉浴室オーディオのリモコンの電源が入っておらず、ヘッドホンモードが通常モード設定(工場出荷時設定)になっている。	浴室オーディオのリモコンの電源を入れてください。(ヘッドホンモードの設定を親切モードへ変更すると浴室テレビと浴室オーディオの両方から音が出ます。)	16
	音が急に小さくなる	スピーカー部の穴に水滴が溜まっている。 ※スピーカー部にシャワーなどをかけると発生します。	故障ではありません。布で水滴をふきとるか、強く息を吹きかけて水滴を飛ばしてください。 ※穴に先のとがったものは差し込まないでください。	-
	電源が入らない	停電している。	停電復帰を待ってください。	-
		ブレーカーが入っていない。	ブレーカーを入れてください。	-



故障かな?と思ったら

	現象	原因	処置方法	ページ
共通事項	電源が勝手に切れる	オフタイマー設定がオンになっている。	オフタイマーの設定をオフにする。または時間を長く設定する。	17
		落雷などのノイズの影響。	ブレーカーをオフにし、落雷がおさまるまでオンにしないでください。	-
	リモコンで操作できない	電池が入っていない。	電池を入れてください。(電池番号:CR2032)	7
		電池が消耗している。	電池を交換してください。	7
		電池の向きが間違っている。	電池を正しい向きに入れてください。	7
		リモコンをテレビ本体に向けて操作していない。	テレビ本体に向けて操作してください。	-
		リモコン送信部やテレビ本体のリモコン受光部が汚れている。	きれいにしてください。	-
		本体またはリモコンに日光などの強い光が当たっている。 ※強い光により赤外線信号が打ち消される場合があります。	テレビ本体やリモコンに強い光を当てないようにしてください。	-
		ノイズなどの影響で機能障害が発生している可能性があります。	一度ブレーカーを「オフ」にし、約30秒以上後にブレーカーを「オン」にしてください。(電源ボタンではなく、必ずブレーカーで「オン」「オフ」してください。)	-
	チャンネル番号が画面から消えない	画面表示ボタンで、画面表示が出る状態にしている。	画面表示ボタンを押してください。	12
外部入力	横長映像になる上下や左右の映像がカットされる	映像にあった画面サイズになっていない。	画面サイズを変更してください。	18
地上デジタル放送のとき	地上デジタル放送が受信できない	お住まいの場所が地上デジタル放送の放送エリアでない。	受信障害がある環境では放送エリア内でも受信できない場合があります。受信可能エリアかどうかの確認は、24ページを参照してください。また、お近くの電気店にご相談ください。	24
		UHFアンテナが地上デジタル放送の送信局に向いていない。	アンテナの向きを確認してください。お近くの電気店にご相談ください。	-
		UHFアンテナが地上デジタル放送を受信できない。	地上デジタル放送用のUHFアンテナやデジタル対応のブースターおよび混合器などが必要な場合があります。お近くの電気店にご相談ください。	-

	現象	原因	処置方法	ページ
地上デジタル放送のとき	地上デジタル放送が受信できない	アンテナ線が接続されていない。	アンテナ線の接続に関して、お求めの販売店にご相談ください。	-
		CATV(ケーブルテレビ)の場合、パススルー方式で配信されていない。	パススルー方式は受信できませんか。それ以外の場合は、各ケーブルテレビ運営会社にお問い合わせください。	-
	映像が出るまでに時間がかかる	各種信号をデジタル処理しているため、電源を入れたときやチャンネルを切り換えたとき、映像が出るまでに少し時間がかかる場合があります。	故障ではありません。しばらくお待ちください。	-
	映像が出ないなど表示がおかしい	ノイズなどの影響で機能障害が発生している可能性があります。	一度ブレーカーを「オフ」にし、約30秒以上後にブレーカーを「オン」にしてください。(電源ボタンではなく、必ずブレーカーで「オン」「オフ」してください。)	-
	映像や音が出ない(または、時々出なくなる)、映像が制止する(または、時々制止する)、画面に四角のノイズ(モザイク)が出る	UHFアンテナの向きが、風や振動により変わってしまった。	「アンテナ設定」で、受信レベルが正常に映るレベルに達しているかご確認ください。(アンテナ入力レベルはチャンネルによって異なります。またアンテナシステムの条件などにより変動する場合がありますので十分な余裕をとることをお勧めします。)お近くの電気店にご相談ください。	24
		受信状態が悪い。		
		アンテナ線が劣化した。		
	字幕や文字スーパーが出ない	「字幕」や「文字スーパー」が設定されていない。	リモコンの「字幕」キーまたはタッチキーの「字幕」を押してください。	21 22
		字幕や文字スーパーのある番組を選局していない。	メニューを押し、「設定」→「初期設定」→「データ放送設定」→「文字スーパー表示設定」→「表示する」を選んでください。	-
	番組表が出ない	電源「入」にした直後や地上デジタル放送を視聴している。	番組によっては、対応していない場合があります。	-
		電源「切」状態にしてください。その間に番組表データを受信します。地上デジタル放送を視聴しているときは、視聴しているチャンネルのみ更新されます。地上デジタル放送の電波状態がよくないときは番組表データを受信できませんのでご注意ください。	-	



故障かな?と思ったら

	現象	原因	処置方法	ページ
BS/CSチューナー	BS・110度CSデジタル放送が映らない、または映像が乱れる	アンテナ接続に分配器を使用している。	分配器は「全端子通電型」のものを使用します。	-
		有料放送ではありませんか。	有料放送を視聴するには契約が必要です。視聴の申し込みや視聴料金などについては、放送事業者にご相談ください。	-
		マンションなどで、壁のアンテナ端子が一つだけになっている。	視聴できる放送の種類についてマンションなどの管理会社にご確認ください。ご自身で確認する場合は、アンテナ線を本機のBS・110度CSアンテナ入力端子に直接接続してください。(地上デジタル放送を確認する場合は、地上デジタルアンテナ入力端子へ)BS・110度CSデジタル放送と地上デジタル放送の両方が受信できる場合は、分波器を使用してアンテナ線をBS・110度CSアンテナ入力端子と地上デジタルアンテナ端子に接続します。	-
		テレビまたはアンテナ線の近くで携帯電話、スマートフォン、コードレス電話、Wi-Fi機器(アクセスポイントを含む)などの無線機器を使用している。	左記の機器は、テレビまたはアンテナ線から離れて使用してください。映像・音声がかかる場合があります。	24
HDMI外部機器接続の場合	HDMI接続外部機器が映らない、聞こえない	正しく接続されていない。	HDMIケーブルで正しく接続してください。	-
	外部機器が操作できない	浴室テレビと外部機器の制御信号が異なる。	HDMI機器のすべての操作ができるわけではありません。本機のリモコンで操作できないときは外部機器のリモコンで操作してください。	34
		本機と接続機器の設定は正しいですか。	接続機器側の連動設定を確認してください。 ※本機の「外部機器設定」にある「HDMI連動機能」を確認してください。	37



メッセージ表示一覧

●代表的なエラーメッセージについて説明しています。

メッセージ	考えられる原因など	対処のしかた・その他
チャンネルが設定されていません。	チャンネルが割り当てられていない数字キーを押したとき表示されます。	別のチャンネルを選局してください。
「アンテナ接続か受信環境に問題があるためご覧になれません。ケーブルをつなぎ直すかアンテナ再調整をしてください。 「青」ボタンでアンテナレベルをご確認ください。コード:E202」	気象条件などによって信号レベルが下がった可能性があります、またはアンテナ線に問題がある可能性があります。	販売店にご相談ください。
「現在放送されていません。 コード:E204」	選局したチャンネルでの放送が休止中、または放送が終了している。 ※雨や雷、雪などの気象条件によって一時的に受信できない場合も表示されることがあります。	番組表などで放送時間を確認します。
「miniB-CASカードが挿入されていません。miniB-CASカードをご確認ください。」	miniB-CASカードが挿入されていない。	販売店にご相談ください。
	miniB-CASカードが正しく挿入されていない。	
	miniB-CASカードが抜けている。	
	miniB-CASカードが接触不良を起こしている。	



よくある問い合わせ(Q&A)

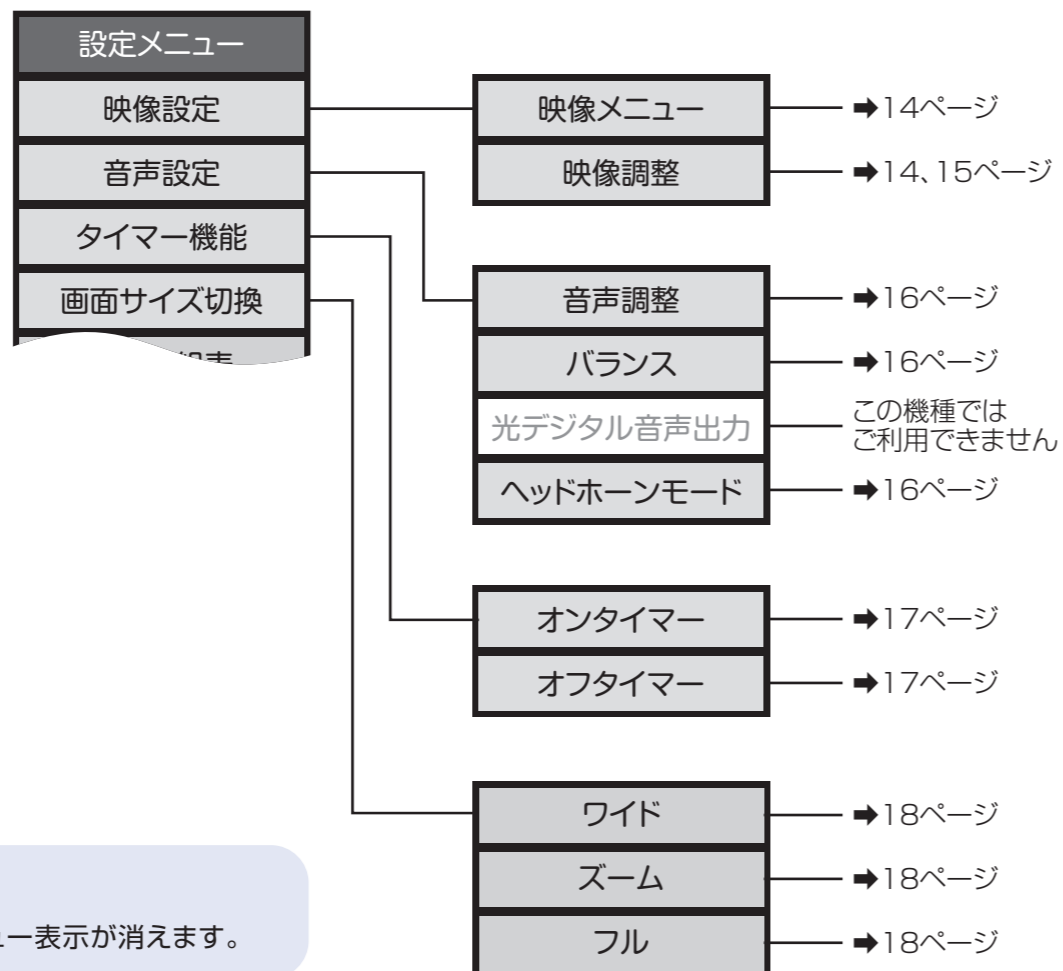
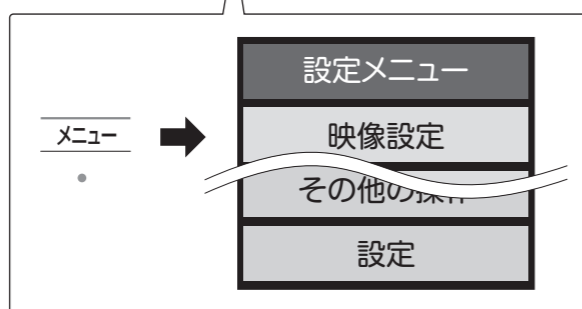
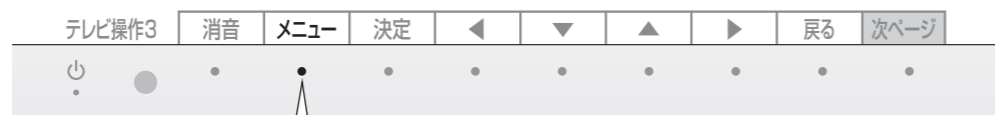
	Q	A
放送に関する	受信レベルについて受信するための目安はありますか?	受信レベルの目安は地上デジタル放送の場合「60%」以上です。レベルはチャンネルや天候・地域・アンテナシステムの条件などで変わってきます。受信レベルの確認は24ページを参照してください。
	私の家でも地上デジタル放送が見られるか確認したいのですが…?	下記のホームページでご確認ください。 ●一般社団法人 放送サービス高度化推進協会 http://www.apab.or.jp
操作に関する	映像がはみ出して見えない部分があるのですが…?	画面サイズの設定は適切ですか?(➡18ページ) 信号によっては、ワイドやズームにすると、映像の上下や左右がカットされてしまう場合があります。
	3桁のチャンネル番号を入力して選局したいのですが?	リモコンの「番号入力」ボタンを押すと、番号入力画面が表示されます。数字ボタンで入力してください。(➡23ページ)



メニュー画面一覧

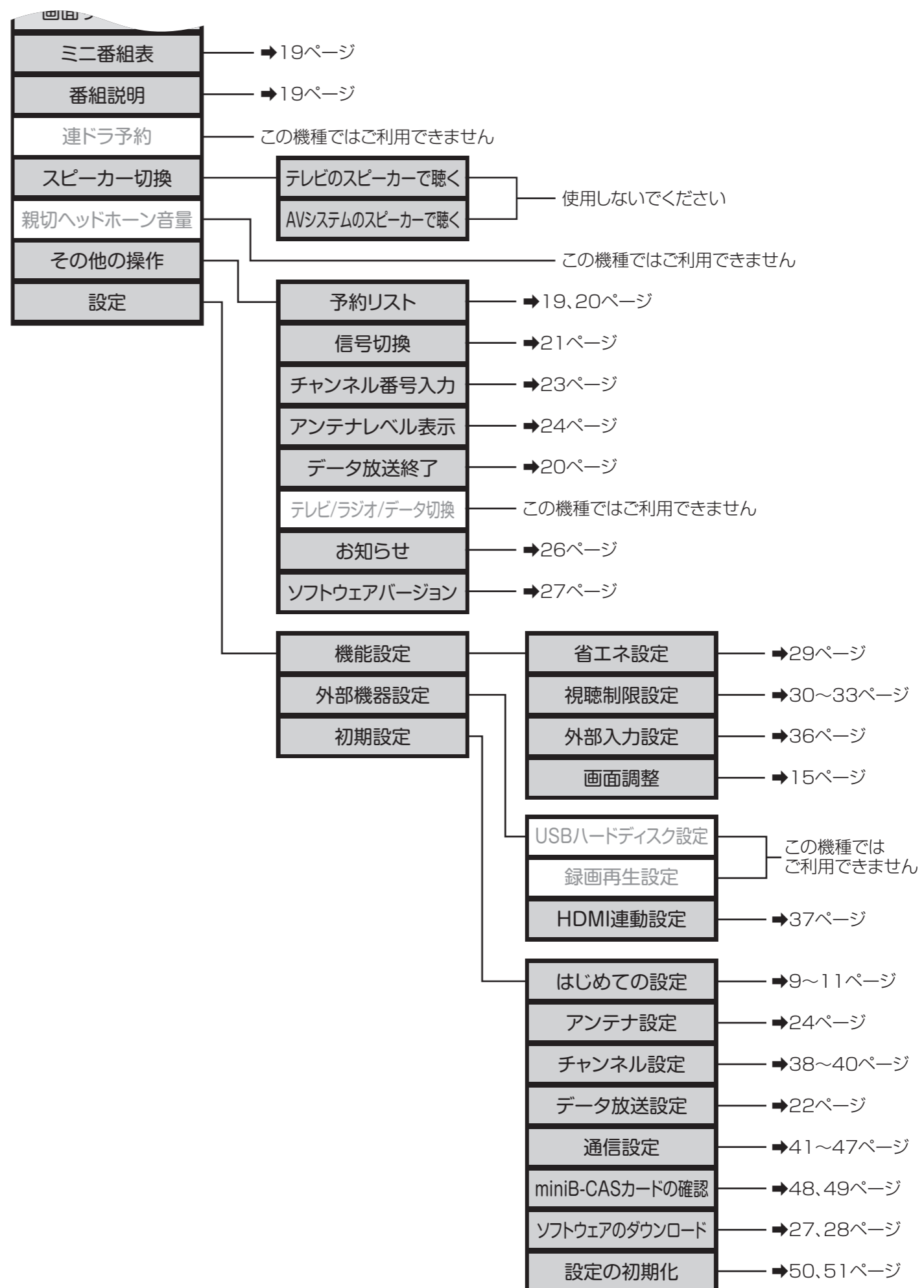
●ご希望の選択や設定をするメニュー画面がどの画面から展開しているかを表しています。
(詳細については該当のページをご覧ください)

メニューボタンから表示できる画面



お知らせ

※ 60秒間操作しないとメニュー表示が消えます。



? アフターサービスについて

修理を依頼する前に「故障かな?と思ったら」(P.53)をご確認ください。

保証について

- 本製品は、設置日から1年間保証です。
- この取扱説明書のP.70が保証書になっています。必ずお引渡し日、お取付店名などの記入をお確かめになり、保証書内容をよくお読みのうえ、大切に保存してください。

保証期間中に修理を依頼される時

もう一度取扱説明書をよくお読みいただき、ご確認ください。なお、異常のあるときには、お求めの販売店・取付店または、TOTOメンテナンス(株)TEL ☎0120-1010-05 FAX ☎0120-1010-02(フリーダイヤル)に修理を依頼してください。保証書の記載内容により修理いたします。

連絡していただきたい内容

- ご住所・お名前・電話番号
- お引渡し日(保証書をご覧ください)
- 製品名:浴室テレビ(24V型ワイド)
- 故障内容・異常状況(P.53~57でご確認ください)
- 品番: EKK30177 / PTZ0080N
- 訪問ご希望日

保証期間経過後、修理を依頼される時

TOTOお客様相談室またはTOTOメンテナンス(株)にまずご相談ください。修理により製品の機能が維持できる場合には、ご希望により有料で修理いたします。

本製品の補修用部品の最低保有期間は、製造打切後8年です。

なお、補修用部品とは、製品の機能を維持するための部品です。

部品の交換について

無料修理により交換された部品・製品はTOTO(株)の所有となります。

修理料金について<TOTOメンテナンス(株)にご依頼の場合>

修理料金は商品の機能が維持できる場合には、ご希望により有料にて修理させていただきます。

標準修理料金は **技術料** + **部品代** + **訪問料** で構成されています。

ただし、補修用部品の保有期間が経過している商品は、修理できない場合がございます。

? 仕様

仕様および外観は改良のため予告なく変更することがあります。あらかじめご了承ください。

定格電圧	AC100V(モニター部 DC13V)
定格周波数	50/60Hz 共用
定格消費電力	約34W(待機時約 0.4W)
外形寸法	モニター:W626mm×H383mm×D23.4mm 電源ボックス:W224mm×H168mm×D94mm
重量	モニター:約4.2kg 電源ボックス:約1.6kg
使用温度	0℃~50℃
受信チャンネル	地上デジタル:VHF(1~12)、UHF(13~62)、CATV(C13~C63) CATV:同一周波数、周波数変換パススルー方式に対応 BSデジタル:BS000~BS999 110度CSデジタル:CS000~CS999
画面サイズ	24V型ワイド(521.5mm×293.2mm)透過型TN液晶パネル
有効画素数(水平×垂直)	1,049,088画素(横1366×縦768)
音声出力	デジタル放送:ステレオ、モノラル、音声多重、サラウンド対応
スピーカー	φ28mm×2
アンテナ入力	同軸(75Ω)端末処理F型プラグ
外部AV入力	HDMI入力(2系統)
外部音声出力	φ3.5mmステレオミニジャック端子
その他の機能	外部機器コントロール機能 自動電源オフ機能 EPG(電子番組表)対応
付属品	・リモコン(1個) ・リモコンホルダー(1個) ・取扱説明書(1冊)

おしらせ

※地上デジタル、BSデジタル、110度CSデジタル放送チューナーを搭載しています。

※外部機器との接続はHDMI端子になります。(2系統)

※電源・チューナーボックスにLANケーブルを接続すると、インターネット経由でデータ放送の双方向サービスをお楽しみいただけます。

※CATVは配信会社によっては受信できない場合があります。詳しくは各CATV会社にご確認ください。

※浴室テレビに使用している液晶パネルは、非常に高度な技術で作られており、99.99%以上の有効画素がありますが、0.01%以下の画素欠けや常時点灯するものがありますので、あらかじめご了承ください。

※浴室オーディオと接続した場合、外部スピーカーからのテレビ音声はサラウンドではありません。

? 著作権など

使われるソフトウェアのライセンス情報

本機に組み込まれたソフトウェアは、複数の独立したソフトウェアコンポーネントで構成され、個々のソフトウェアコンポーネントは、それぞれに当社または第三者の著作権が存在します。

本機は、第三者が規定したエンドユーザーライセンスアグリーメントあるいは著作権通知（以下「EULA」といいます）に基づきフリーソフトウェアとして配布されるソフトウェアコンポーネントを使用しております。

「EULA」の中には、実行形式のソフトウェアコンポーネントを配布する条件として、当該コンポーネントのソースコードの入手を可能にするよう求めているものがあります。当該「EULA」の対象となるソフトウェアコンポーネントに関しては、（問い合わせ先、HP等を記載のこと）へお願いいたします。

また、本機のソフトウェアコンポーネントには、当社自身が開発もしくは作成したソフトウェアも含まれており、これらソフトウェア及びそれに付帯したドキュメント類には、当社の所有権が存在し、著作権法、国際条約条項及び他の準拠法によって保護されています。「EULA」の適用を受けない当社自身が開発もしくは作成したソフトウェアコンポーネントは、ソースコード提供の対象とはなりませんのでご了承ください。

ご購入いただいた本機は、製品として、弊社所定の保証をいたします。

ただし、「EULA」に基づいて配布されるソフトウェアコンポーネントには、著作権者または弊社を含む第三者の保証がないことを前提に、お客様がご自身でご利用になることが認められるものがあります。この場合、当該ソフトウェアコンポーネントは無償でお客様に使用許諾されますので、適用法令の範囲内で、当該ソフトウェアコンポーネントの保証は一切ありません。著作権やその他の第三者の権利等については、一切の保証がなく、“as is”（現状）の状態で、かつ、明示か黙示であるかを問わず一切の保証をつけずに、当該ソフトウェアコンポーネントが提供されます。ここでいう保証とは、市場性や特定目的適合性についての黙示の保証も含まれますが、それに限定されるものではありません。当該ソフトウェアコンポーネントの品質や性能に関するすべてのリスクはお客様が負うものとします。また、当該ソフトウェアコンポーネントに欠陥があるとわかった場合、それに伴う一切の派生費用や修理・訂正に要する費用は、当社は一切の責任を負いません。適用法令の定め、又は書面による合意がある場合を除き、著作権者や上記許諾を受けて当該ソフトウェアコンポーネントの変更・再配布を為し得る者は、当該ソフトウェアコンポーネントを使用したこと、又は使用できないことに起因する一切の損害についてなんらの責任も負いません。著作権者や第三者が、そのような損害の発生する可能性について知らされていた場合でも同様です。なお、ここでいう損害には、通常損害、特別損害、偶発損害、間接損害が含まれます（データの消失、又はその正確さの喪失、お客様や第三者が被った損失、他のソフトウェアとのインタフェースの不適合化等も含まれますが、これに限定されるものではありません）。当該ソフトウェアコンポーネントの使用条件や遵守いただかなければ

ならない事項等の詳細は、各「EULA」をお読みください。本機に組み込まれた「EULA」の対象となるソフトウェアコンポーネントは、以下のとおりです。これらソフトウェアコンポーネントをお客様自身でご利用いただく場合は、対応する「EULA」をよく読んでから、ご利用くださるようお願いいたします。なお、各「EULA」は当社以外の第三者による規定であるため、原文（英文）を記載します。

対応ソフトウェアモジュール	
Linux Kernel busybox parted xfspgrog mtd-utils mkdosfs e2fsprogs	Exhibit A
Glibc gcc	Exhibit B
Malloc	Exhibit C
OpenSSL	Exhibit D

ライセンスおよび商標などについて

HDMI、HDMIロゴ、およびHigh-Definition Multimedia Interfaceは、HDMI Licensing LLCの商標、または登録商標です。

本製品の一部分にIndependent JPEG Groupが開発したモジュールが含まれています。

この製品に含まれているソフトウェアをリバース・エンジニアリング、逆アセンブル、逆アセンブル、逆コンパイル、分解またはその他の方法で解析、及び変更することは禁止されています。

Exhibit A

GNU GENERAL PUBLIC LICENSE Version 2, June 1991

Copyright c 1989, 1991 Free Software Foundation, Inc.

59 Temple Place, Suite 330, Boston, MA 02111-1307 USA

Everyone is permitted to copy and distribute verbatim copies of this license document, but changing it is not allowed.

Preamble

The licenses for most software are designed to take away your freedom to share and change it. By contrast, the GNU General Public License is intended to guarantee your freedom to share and change free software – to make sure the software is free for all its users. This General Public License applies to most of the Free Software Foundation's software and to any other program whose authors commit to using it. (Some other Free Software Foundation software is covered by the GNU Library General Public License instead.) You can apply it to your programs, too.

When we speak of free software, we are referring to freedom, not price. Our General Public Licenses are designed to make sure that you have the freedom to distribute copies of free software (and charge for this service if you wish), that you receive source code or can get it if you want it, that you can change the software or use pieces of it in new free programs; and that you know you can do these things.

To protect your rights, we need to make restrictions that forbid anyone to deny you these rights or to ask you to surrender the rights. These restrictions translate to certain responsibilities for you if you distribute copies of the software, or if you modify it.

For example, if you distribute copies of such a program, whether gratis or for a fee, you must give the recipients all the rights that you have. You must make sure that they, too, receive or can get the source code. And you must show them these terms so they know their rights.

We protect your rights with two steps: (1) copyright the software, and (2) offer you this license which gives you legal permission to copy, distribute and/or modify the software.

Also, for each author's protection and ours, we want to make certain that everyone understands that there is no warranty for this free software. If the software is modified by someone else and passed on, we want its recipients to know that what they have is not the original, so that any problems introduced by others will not reflect on the original authors' reputations.

Finally, any free program is threatened constantly by software patents. We wish to avoid the danger that redistributors of a free program will individually obtain patent licenses, in effect making the program proprietary. To prevent this, we have made it clear that any patent must be licensed for everyone's free use or not licensed at all.

The precise terms and conditions for copying, distribution and modification follow.

GNU GENERAL PUBLIC LICENSE TERMS AND CONDITIONS FOR COPYING, DISTRIBUTION AND MODIFICATION

0. This License applies to any program or other work which contains a notice placed by the copyright holder saying it may be distributed under the terms of this General Public License. The "Program", below, refers to any such program or work, and a "work based on the Program" means either the Program or any derivative work under copyright law: that is to say, a work containing the Program or a portion of it, either verbatim or with modifications and/ or translated into another language. (Hereinafter, translation is included without limitation in the term "modification".) Each licensee is addressed as "you".

Activities other than copying, distribution and modification are not covered by this License; they are outside its scope. The act of running the Program is not restricted, and the output from the Program is covered only if its contents constitute a work based on the Program (independent of having been made by running the Program). Whether that is true depends on what the Program does.

1. You may copy and distribute verbatim copies of the Program's source code as you receive it, in any medium, provided that you conspicuously and appropriately publish on each copy an appropriate copyright notice and disclaimer of warranty; keep intact all the notices that refer to this License and to the absence of any warranty; and give any other recipients of the Program a copy of this License along with the Program. You may charge a fee for the physical act of transferring a copy,

and you may at your option offer warranty protection in exchange for a fee.

2. You may modify your copy or copies of the Program or any portion of it, thus forming a work based on the Program, and copy and distribute such modifications or work under the terms of Section 1 above, provided that you also meet all of these conditions:

a) You must cause the modified files to carry prominent notices stating that you changed the files and the date of any change.

b) You must cause any work that you distribute or publish, that in whole or in part contains or is derived from the Program or any part thereof, to be licensed as a whole at no charge to all third parties under the terms of this License.

c) If the modified program normally reads commands interactively when run, you must cause it, when started running for such interactive use in the most ordinary way, to print or display an announcement including an appropriate copyright notice and a notice that there is no warranty (or else, saying that you provide a warranty) and that users may redistribute the program under these conditions, and telling the user how to view a copy of this License. (Exception: if the Program itself is interactive but does not normally print such an announcement, your work based on the Program is not required to print an announcement.)

These requirements apply to the modified work as a whole. If identifiable sections of that work are not derived from the Program, and can be reasonably considered independent and separate works in themselves, then this License, and its terms, do not apply to those sections when you distribute them as separate works. But when you distribute the same sections as part of a whole which is a work based on the Program, the distribution of the whole must be on the terms of this License, whose permissions for other licensees extend to the entire whole, and thus to each and every part regardless of who wrote it.

Thus, it is not the intent of this section to claim rights or contest your rights to work written entirely by you; rather, the intent is to exercise the right to control the distribution of derivative or collective works based on the Program.

In addition, mere aggregation of another work not based on the Program with the Program (or with a work based on the Program) on a volume of a storage or distribution medium does not bring the other work under the scope of this License.

3. You may copy and distribute the Program (or a work based on it, under Section 2) in object code or executable form under the terms of Sections 1 and 2 above provided that you also do one of the following:

a) Accompany it with the complete corresponding machine-readable source code, which must be distributed under the terms of Sections 1 and 2 above on a medium customarily used for software interchange; or,

b) Accompany it with a written offer, valid for at least three years, to give any third party, for a charge no more than your cost of physically performing source distribution, a complete machine-readable copy of the corresponding source code, to be distributed under the terms of Sections 1 and 2 above on a medium customarily used for software interchange; or,

c) Accompany it with the information you received as to the offer to distribute corresponding source code. (This alternative is allowed only for noncommercial distribution and only if you received the program in object code or executable form with such an offer, in accord with Subsection b above.)

The source code for a work means the preferred form of the work for making modifications to it. For an executable work, complete source code means all the source code for all modules it contains, plus any associated interface definition files, plus the scripts used to control compilation and installation of the executable. However, as a special exception, the source code distributed need not include anything that is normally distributed (in either source or binary form) with the major components (compiler, kernel, and so on) of the operating system on which the executable runs, unless that component itself accompanies the executable.

If distribution of executable or object code is made by offering access to copy from a designated place, then offering equivalent access to copy the source code from the same place counts as distribution of the source code, even though third parties are not compelled to copy the source along with the object code.

4. You may not copy, modify, sublicense, or distribute the Program except as expressly provided under this License. Any attempt otherwise to copy, modify, sublicense or distribute the Program is void, and will automatically terminate your



著作権など

rights under this License. However, parties who have received copies, or rights, from you under this License will not have their licenses terminated so long as such parties remain in full compliance.

5. You are not required to accept this License, since you have not signed it. However, nothing else grants you permission to modify or distribute the Program or its derivative works. These actions are prohibited by law if you do not accept this License. Therefore, by modifying or distributing the Program (or any work based on the Program), you indicate your acceptance of this License to do so, and all its terms and conditions for copying, distributing or modifying the Program or works based on it.

6. Each time you redistribute the Program (or any work based on the Program), the recipient automatically receives a license from the original licensor to copy, distribute or modify the Program subject to these terms and conditions. You may not impose any further restrictions on the recipients' exercise of the rights granted herein. You are not responsible for enforcing compliance by third parties to this License.

7. If as a consequence of a court judgment or allegation of patent infringement or for any other reason (not limited to patent issues), conditions are imposed on you (whether by court order, agreement or otherwise) that contradict the conditions of this License, they do not excuse you from the conditions of this License. If you cannot distribute so as to satisfy simultaneously your obligations under this License and any other pertinent obligations, then as a consequence you may not distribute the Program at all.

For example, if a patent license would not permit royalty-free redistribution of the Program by all those who receive copies directly or indirectly through you, then the only way you could satisfy both it and this License would be to refrain entirely from distribution of the Program. If any portion of this section is held invalid or unenforceable under any particular circumstance, the balance of the section is intended to apply and the section as a whole is intended to apply in other circumstances.

It is not the purpose of this section to induce you to infringe any patents or other property right claims or to contest validity of any such claims; this section has the sole purpose of protecting the integrity of the free software distribution system, which is implemented by public license practices. Many people have made generous contributions to the wide range of software distributed through that system in reliance on consistent application of that system; it is up to the author/donor to decide if he or she is willing to distribute software through any other system and a licensee cannot impose that choice.

This section is intended to make thoroughly clear what is believed to be a consequence of the rest of this License.

8. If the distribution and/or use of the Program is restricted in certain countries either by patents or by copyrighted interfaces, the original copyright holder who places the Program under this License may add an explicit geographical distribution limitation excluding those countries, so that distribution is permitted only in or among countries not thus excluded. In such case, this License incorporates the limitation as if written in the body of this License.

9. The Free Software Foundation may publish revised and/or new versions of the General Public License from time to time. Such new versions will be similar in spirit to the present version, but may differ in detail to address new problems or concerns. Each version is given a distinguishing version number. If the Program specifies a version number of this License which applies to it and "any later version", you have the option of following the terms and conditions either of that version or of any later version published by the Free Software Foundation. If the Program does not specify a version number of this License, you may choose any version ever published by the Free Software Foundation.

10. If you wish to incorporate parts of the Program into other free programs whose distribution conditions are different, write to the author to ask for permission. For software which is copyrighted by the Free Software Foundation, write to the Free Software Foundation; we sometimes make exceptions for this. Our decision will be guided by the two goals of preserving the free status of all derivatives of our free software and of promoting the sharing and reuse of software generally.

NO WARRANTY

11. BECAUSE THE PROGRAM IS LICENSED FREE OF CHARGE, THERE IS NO WARRANTY FOR THE PROGRAM, TO THE EXTENT PERMITTED BY APPLICABLE LAW. EXCEPT WHEN OTHERWISE STATED IN WRITING THE COPYRIGHT HOLDERS AND/OR OTHER PARTIES PROVIDE THE PROGRAM "AS IS" WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EITHER EXPRESSED OR IMPLIED, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. THE ENTIRE RISK AS TO THE QUALITY AND PERFORMANCE OF THE PROGRAM IS WITH YOU. SHOULD THE PROGRAM PROVE DEFECTIVE, YOU ASSUME THE COST OF ALL NECESSARY SERVICING, REPAIR OR CORRECTION.

12. IN NO EVENT UNLESS REQUIRED BY APPLICABLE LAW OR AGREED TO IN WRITING WILL ANY COPYRIGHT HOLDER, OR ANY OTHER PARTY WHO MAY MODIFY AND/OR REDISTRIBUTE THE PROGRAM AS PERMITTED ABOVE, BE LIABLE TO YOU FOR DAMAGES, INCLUDING ANY GENERAL, SPECIAL, INCIDENTAL OR CONSEQUENTIAL DAMAGES ARISING OUT OF THE USE OR INABILITY TO USE THE PROGRAM (INCLUDING BUT NOT LIMITED TO LOSS OF DATA OR DATA BEING RENDERED INACCURATE OR LOSSES SUSTAINED BY YOU OR THIRD PARTIES OR A FAILURE OF THE PROGRAM TO OPERATE WITH ANY OTHER PROGRAMS), EVEN IF SUCH HOLDER OR OTHER PARTY HAS BEEN ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGES.

END OF TERMS AND CONDITIONS

How to Apply These Terms to Your New Programs

If you develop a new program, and you want it to be of the greatest possible use to the public, the best way to achieve this is to make it free software which everyone can redistribute and change under these terms.

To do so, attach the following notices to the program. It is safest to attach them to the start of each source file to most effectively convey the exclusion of warranty; and each file should have at least the "copyright" line and a pointer to where the full notice is found.

<One line to give the program's name and a brief idea of what it does.>

Copyright c 19yy <name of author>

This program is free software; you can redistribute it and/ or modify it under the terms of the GNU General Public License as published by the Free Software Foundation; either version 2 of the License, or (at your option) any later version.

This program is distributed in the hope that it will be useful, but WITHOUT ANY WARRANTY; without even the implied warranty of MERCHANTABILITY or FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. See the GNU General Public License for more details.

You should have received a copy of the GNU General Public License along with this program; if not, write to the Free Software Foundation, Inc., 59 Temple Place, Suite 330, Boston, MA 02111-1307 USA

Also add information on how to contact you by electronic and paper mail.

If the program is interactive, make it output a short notice like this when it starts in an interactive mode:

Gnomovision version 69, Copyright c 19yy name of author Gnomovision comes with ABSOLUTELY NO WARRANTY; for details type `show w'. This is free software, and you are welcome to redistribute it under certain conditions; type `show c' for details.

The hypothetical commands `show w' and `show c' should show the appropriate parts of the General Public License. Of course, the commands you use may be called something other than `show w' and `show c'; they could even be mouse-clicks or menu items – whatever suits your program.

You should also get your employer (if you work as a programmer) or your school, if any, to sign a "copyright disclaimer" for the program; if necessary. Here is a sample; alter the names:

Yoyodyne, Inc., hereby disclaims all copyright interest in the program `Gnomovision' (which makes passes at compilers) written by James Hacker.

<signature of Ty Coon>, 1 April 1989

Ty Coon, President of Vice

This General Public License does not permit incorporating your program into proprietary programs. If your program is a subroutine library, you may consider it more useful to permit linking proprietary applications with the library. If this is what you want to do, use the GNU Library General Public License instead of this License.

Exhibit B

GNU LESSER GENERAL PUBLIC LICENSE Version 2.1,
February 1999

Copyright c 1991, 1999 Free Software Foundation, Inc. 59 Temple Place, Suite 330, Boston, MA 02111-1307 USA

Everyone is permitted to copy and distribute verbatim copies of this license document, but changing it is not allowed.

[This is the first released version of the Lesser GPL. It also counts as the successor of the GNU Library Public License, version 2, hence the version number 2.1.]

Preamble

The licenses for most software are designed to take away your freedom to share and change it. By contrast, the GNU General Public Licenses are intended to guarantee your freedom to share and change free software – to make sure the software is free for all its users.

This license, the Lesser General Public License, applies to some specially designated software packages – typically libraries – of the Free Software Foundation and other authors who decide to use it. You can use it too, but we suggest you first think carefully about whether this license or the ordinary General Public License is the better strategy to use in any particular case, based on the explanations below.

When we speak of free software, we are referring to freedom of use, not price. Our General Public Licenses are designed to make sure that you have the freedom to distribute copies of free software (and charge for this service if you wish); that you receive source code or can get it if you want it; that you can change the software and use pieces of it in new free programs; and that you are informed that you can do these things.

To protect your rights, we need to make restrictions that forbid distributors to deny you these rights or to ask you to surrender these rights. These restrictions translate to certain responsibilities for you if you distribute copies of the library or if you modify it.

For example, if you distribute copies of the library, whether gratis or for a fee, you must give the recipients all the rights that we gave you. You must make sure that they, too, receive or can get the source code. If you link other code with the library, you must provide complete object files to the recipients, so that they can relink them with the library after making changes to the library and recompiling it. And you must show them these terms so they know their rights.

We protect your rights with a two-step method: (1) we copyright the library, and (2) we offer you this license, which gives you legal permission to copy, distribute and/or modify the library.

To protect each distributor, we want to make it very clear that there is no warranty for the free library. Also, if the library is modified by someone else and passed on, the recipients should know that what they have is not the original version, so that the original author's reputation will not be affected by problems that might be introduced by others.

Finally, software patents pose a constant threat to the existence of any free program. We wish to make sure that a company cannot effectively restrict the users of a free program by obtaining a restrictive license from a patent holder. Therefore, we insist that any patent license obtained for a version of the library must be consistent with the full freedom of use specified in this license.

Most GNU software, including some libraries, is covered by the ordinary GNU General PublicLicense. This license, the GNU Lesser General Public License, applies to certain designated libraries, and is quite different from the ordinary General Public License. We use this license for certain libraries in order to permit linking those libraries into non-free programs.

When a program is linked with a library, whether statically or using a shared library, the combination of the two is

legally speaking a combined work, a derivative of the original library. The ordinary General Public License therefore permits such linking only if the entire combination fits its criteria of freedom. The Lesser General Public License permits more lax criteria for linking other code with the library.

We call this license the "Lesser" General Public License because it does Less to protect the user's freedom than the ordinary General Public License. It also

provides other free software developers Less of an advantage over competing non-free programs. These disadvantages are the reason we use the ordinary General Public License for many libraries. However, the Lesser license provides advantages in certain special circumstances.

For example, on rare occasions, there may be a special need to encourage the widest possible use of a certain library, so that it becomes a de-facto standard. To achieve this, non-free programs must be allowed to use the library. A more frequent case is that a free library does the same job as widely used non-free libraries. In this case there is little to gain by limiting the free library to free software only, so we use the Lesser General Public License.

In other cases, permission to use a particular library in nonfree programs enables a greater number of people to use a large body of free software. For example, permission to use the GNU C Library in non-free programs enables many more people to use the whole GNU operating system, as well as its variant, the GNU/Linux operating system.

Although the Lesser General Public License is Less protective of the users' freedom, it does ensure that the user of a program that is linked with the Library has the freedom and the wherewithal to run that program using a modified version of the Library.

The precise terms and conditions for copying, distribution and modification follow. Pay close attention to the difference between a "work based on the library" and a "work that uses the library". The former contains code derived from the library, whereas the latter must be combined with the library in order to run.

GNU LESSER GENERAL PUBLIC LICENSE TERMS ANDCONDITIONS FOR COPYING, DISTRIBUTION AND MODIFICATION

0. This License Agreement applies to any software library or other program which contains a notice placed by the copyright holder or other authorized party saying it may be distributed under the terms of this Lesser General Public License (also called "this License"). Each licensee is addressed as "you".

A "library" means a collection of software functions and/or data prepared so as to be conveniently linked with application programs (which use some of those functions and data) to form executables.

The "Library", below, refers to any such software library or work which has been distributed under these terms.

A "work based on the Library" means either the Library or any derivative work under copyright law: that is to say, a work containing the Library or a portion of it, either verbatim or with modifications and/or translated straightforwardly into another language. (Hereinafter, translation is included without limitation in the term "modification".)

"Source code" for a work means the preferred form of the work for making modifications to it. For a library, complete source code means all the source code for all modules it contains, plus any associated interface definition files, plus the scripts used to control compilation and installation of the library.

Activities other than copying, distribution and modification are not covered by this License; they are outside its scope. The act of running a program using the Library is not

restricted, and output from such a program is covered only if its contents constitute a work based on the Library (independent of the use of the Library in a tool for writing it).

Whether that is true depends on what the Library does and what the program that uses the Library does.

1. You may copy and distribute verbatim copies of the Library's complete source code as you receive it, in any medium, provided that you conspicuously and appropriately publish on each copy an appropriate copyright notice and disclaimer of warranty; keep intact all the notices that refer to this License and to the absence of any warranty; and distribute a copy of this License along with the Library. You may charge a fee for the physical act of transferring a copy, and you may at your option offer warranty protection in exchange for a fee.

2. You may modify your copy or copies of the Library or any portion of it, thus forming a work based on the Library, and copy and distribute such modifications or work under the terms of Section 1 above, provided that you also meet all of these conditions:



著作権など

- a) The modified work must itself be a software library.
- b) You must cause the files modified to carry prominent notices stating that you changed the files and the date of any change.
- c) You must cause the whole of the work to be licensed at no charge to all third parties under the terms of this License.
- d) If a facility in the modified Library refers to a function or a table of data to be supplied by an application program that uses the facility, other than as an argument passed when the facility is invoked, then you must make a good faith effort to ensure that, in the event an application does not supply such function or table, the facility still operates, and performs whatever part of its purpose remains meaningful. (For example, a function in a library to compute square roots has a purpose that is entirely well-defined independent of the application. Therefore, Subsection 2d requires that any application-supplied function or table used by this function must be optional: if the application does not supply it, the square root function must still compute square roots.)

These requirements apply to the modified work as a whole. If identifiable sections of that work are not derived from the Library, and can be reasonably considered independent and separate works in themselves, then this License, and its terms, do not apply to those sections when you distribute them as separate works. But when you distribute the same sections as part of a whole which is a work based on the Library, the distribution of the whole must be on the terms of this License, whose permissions for other licensees extend to the entire whole, and thus to each and every part regardless of who wrote it.

Thus, it is not the intent of this section to claim rights or contest your rights to work written entirely by you; rather, the intent is to exercise the right to control the distribution of derivative or collective works based on the Library.

In addition, mere aggregation of another work not based on the Library with the Library (or with a work based on the Library) on a volume of a storage or distribution medium does not bring the other work under the scope of this License.

3. You may opt to apply the terms of the ordinary GNU General Public License instead of this License to a given copy of the Library. To do this, you must alter all the notices that refer to this License, so that they refer to the ordinary GNU General Public License, version 2, instead of to this License. (If a newer version than version 2 of the ordinary GNU General Public License has appeared, then you can specify that version instead if you wish.) Do not make any other change in these notices.

Once this change is made in a given copy, it is irreversible for that copy, so the ordinary GNU General Public License applies to all subsequent copies and derivative works made from that copy.

This option is useful when you wish to copy part of the code of the Library into a program that is not a library.

4. You may copy and distribute the Library (or a portion or derivative of it, under Section 2) in object code or executable form under the terms of Sections 1 and 2 above provided that you accompany it with the complete corresponding machinereadable source code, which must be distributed under the terms of Sections 1 and 2 above on a medium customarily used for software interchange.

If distribution of object code is made by offering access to copy from a designated place, then offering equivalent access to copy the source code from the same place satisfies the requirement to distribute the source code, even though third parties are not compelled to copy the source along with the object code.

5. A program that contains no derivative of any portion of the Library, but is designed to work with the Library by being compiled or linked with it, is called a “work that uses the Library”. Such a work, in isolation, is not a derivative work of the Library, and therefore falls outside the scope of this License.

However, linking a “work that uses the Library” with the Library creates an executable that is a derivative of the Library (because it contains portions of the Library), rather than a “work that uses the library”. The executable is therefore covered by this License. Section 6 states terms for distribution of such executables..

When a “work that uses the Library” uses material from a header file that is part of the Library, the object code for the work may be a derivative work of the Library even though the source code is not. Whether this is true is especially significant if the work can be linked without the Library, or if the work is itself a library. The threshold for this to be true is not precisely defined by law.

If such an object file uses only numerical parameters, data structure layouts and accessors, and small macros and small inline functions (ten lines or less in length), then the use of the object file is unrestricted, regardless of whether it is legally a derivative work. (Executables containing this object code plus portions of the Library will still fall under Section 6.)

Otherwise, if the work is a derivative of the Library, you may distribute the object code for the work under the terms of Section 6. Any executables containing that work also fall under Section 6, whether or not they are linked directly with the Library itself.

6. As an exception to the Sections above, you may also combine or link a “work that uses the Library” with the Library to produce a work containing portions of the Library, and distribute that work under terms of your choice, provided that the terms permit modification of the work for the customer’s own use and reverse engineering for debugging such modifications.

You must give prominent notice with each copy of the work that the Library is used in it and that the Library and its use are covered by this License. You must supply a copy of this License. If the work during execution displays copyright notices, you must include the copyright notice for the Library among them, as well as a reference directing the user to the copy of this License. Also, you must do one of these things:

a) Accompany the work with the complete corresponding machine-readable source code for the Library including whatever changes were used in the work (which must be distributed under Sections 1 and 2 above); and, if the work is an executable linked with the Library, with the complete machine-readable “work that uses the Library”, as object code and/or source code, so that the user can modify the Library and then relink to produce a modified executable containing the modified Library. (It is understood that the user who changes the contents of definitions files in the Library will not necessarily be able to recompile the application to use the modified definitions.)

b) Use a suitable shared library mechanism for linking with the Library. A suitable mechanism is one that (1) uses at run time a copy of the library already present on the user’s computer system, rather than copying library functions into the executable, and (2) will operate properly with a modified version of the library, if the user installs one, as long as the modified version is interface-compatible with the version that the work was made with.

c) Accompany the work with a written offer, valid for at least three years, to give the same user the materials specified in Subsection 6a, above, for a charge no more than the cost of performing this distribution.

d) If distribution of the work is made by offering access to copy from a designated place, offer equivalent access to copy the above specified materials from the same place.

e) Verify that the user has already received a copy of these materials or that you have already sent this user a copy.

For an executable, the required form of the “work that uses the Library” must include any data and utility programs needed for reproducing the executable from it. However, as a special exception, the materials to be distributed need not include anything that is normally distributed (in either source or binary form) with the major components (compiler, kernel, and so on) of the operating system on which the executable runs, unless that component itself accompanies the executable.

It may happen that this requirement contradicts the license restrictions of other proprietary libraries that do not normally accompany the operating system. Such a contradiction means you cannot use both them and the Library together in an executable that you distribute.

7. You may place library facilities that are a work based on the Library side-by-side in a single library together with other library facilities not covered by this License, and distribute such a combined library, provided that the separate distribution of the work based on the Library and of the other library facilities is otherwise permitted, and provided that you do these two things:

a) Accompany the combined library with a copy of the same work based on the Library, uncombined with any other library facilities. This must be distributed under the terms of the Sections above.

b) Give prominent notice with the combined library of the fact that part of it is a work

based on the Library, and explaining where to find the accompanying uncombined form of the same work.

8. You may not copy, modify, sublicense, link with, or distribute the Library except as expressly provided under this License. Any attempt otherwise to copy, modify, sublicense, link with, or distribute the Library is void, and will automatically terminate your rights under this License. However, parties who have received copies, or rights, from you under this License will not have their licenses terminated so long as such parties remain in full compliance.

9. You are not required to accept this License, since you have not signed it. However, nothing else grants you permission to modify or distribute the Library or its derivative works. These actions are prohibited by law if you do not accept this License. Therefore, by modifying or distributing the Library (or any work based on the Library) , you indicate your acceptance of this License to do so, and all its terms and conditions for copying, distributing or modifying the Library or works based on it.

10. Each time you redistribute the Library (or any work based on the Library”, the recipient automatically receives a license from the original licensor to copy, distribute, link with or modify the Library subject to these terms and conditions. You may not impose any further restrictions on the recipients’ exercise of the rights granted herein. You are not responsible for enforcing compliance by third parties with this License.

11. If, as a consequence of a court judgment or allegation of patent infringement or for any other reason (not limited to patent issues), conditions are imposed on you (whether by court order, agreement or otherwise) that contradict the conditions of this License, they do not excuse you from the conditions of this License. If you cannot distribute so as to satisfy simultaneously your obligations under this License and any other pertinent obligations, then as a consequence you may not distribute the Library at all. For example, if a patent license would not permit royaltyfree redistribution of the Library by all those who receive copies directly or indirectly through you, then the only way you could satisfy both it and this License would be to refrain entirely from distribution of the Library.

If any portion of this section is held invalid or unenforceable under any particular circumstance, the balance of the section is intended to apply, and the section as a whole is intended to apply in other circumstances.

It is not the purpose of this section to induce you to infringe any patents or other property right claims or to contest validity of any such claims; this section has the sole purpose of protecting the integrity of the free software distribution system which is implemented by public license practices. Many people have made generous contributions to the wide range of

software distributed through that system in reliance on consistent application of that system; it is up to the author/donor to decide if he or she is willing to distribute software through any other system and a licensee cannot impose that choice.

This section is intended to make thoroughly clear what is believed to be a consequence of the rest of this License.

12. If the distribution and/or use of the Library is restricted in certain countries either by patents or by copyrighted interfaces, the original copyright holder who places the Library under this License may add an explicit geographical distribution limitation excluding those countries, so that distribution is permitted only in or among countries not thus excluded. In such case, this License incorporates the limitation as if written in the body of this License.

13. The Free Software Foundation may publish revised and/ or new versions of the Lesser General Public License from time to time. Such new versions will be similar in spirit to the present version, but may differ in detail to address new problems or concerns. Each version is given a distinguishing version number. If the Library specifies a version number of this License which applies to it and “any later version”, you have the option of following the terms and conditions either of that version or of any later version published by the Free Software Foundation. If the Library does not specify a license version number, you may choose any version ever published by the Free Software Foundation.

14. If you wish to incorporate parts of the Library into other free programs whose distribution conditions are incompatible with these, write to the author to ask for permission. For software which is copyrighted by the Free Software Foundation,

write to the Free Software Foundation; we sometimes make exceptions for this. Our decision will be guided by the two goals of preserving the free status of all derivatives of our free software and of promoting the sharing and reuse of software generally.

NO WARRANTY
15. BECAUSE THE LIBRARY IS LICENSED FREE OF CHARGE, THERE IS NO WARRANTY FOR THE LIBRARY, TO THE EXTENT PERMITTED BY APPLICABLE LAW. EXCEPT WHEN OTHERWISE STATED IN WRITING THE COPYRIGHT HOLDERS AND/ OR OTHER PARTIES PROVIDE THE LIBRARY “AS IS” WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EITHER EXPRESSED OR IMPLIED, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. THE ENTIRE RISK AS TO THE QUALITY AND PERFORMANCE OF THE LIBRARY IS WITH YOU. SHOULD THE LIBRARY PROVE DEFECTIVE, YOU ASSUME THE COST OF ALL NECESSARY SERVICING, REPAIR OR CORRECTION.

16. IN NO EVENT UNLESS REQUIRED BY APPLICABLE LAW OR AGREED TO IN WRITING WILL ANY COPYRIGHT HOLDER, OR ANY OTHER PARTY WHO MAY MODIFY AND/ OR REDISTRIBUTE THE LIBRARY AS PERMITTED ABOVE, BE LIABLE TO YOU FOR DAMAGES, INCLUDING ANY GENERAL, SPECIAL, INCIDENTAL OR CONSEQUENTIAL DAMAGES ARISING OUT OF THE USE OR INABILITY TO USE THE LIBRARY (INCLUDING BUT NOT LIMITED TO LOSS OF DATA OR DATA BEING RENDERED INACCURATE OR LOSSES SUSTAINED BY YOU OR THIRD PARTIES OR A FAILURE OF THE LIBRARY TO OPERATE WITH ANY OTHER SOFTWARE), EVEN IF SUCH HOLDER OR OTHER PARTY HAS BEEN ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGES.

END OF TERMS AND CONDITIONS
How to Apply These Terms to Your New Libraries

If you develop a new library, and you want it to be of the greatest possible use to the public, we recommend making it free software that everyone can redistribute and change. You can do so by permitting redistribution under these terms (or, alternatively, under the terms of the ordinary General Public License).

To apply these terms, attach the following notices to the library. It is safest to attach them to the start of each source file to most effectively convey the exclusion of warranty; and each file should have at least the “copyright” line and a pointer to where the full notice is found.

<one line to give the library’s name and a brief idea of what it does.>
Copyright c <year> <name of author>

This library is free software; you can redistribute it and/or modify it under the terms of the GNU Lesser General Public License as published by the Free Software Foundation; either version 2 of the License, or (at your option) any later version.

This library is distributed in the hope that it will be useful, but WITHOUT ANY WARRANTY; without even the implied warranty of MERCHANTABILITY or FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. See the GNU Lesser General Public License for more details.

You should have received a copy of the GNU Lesser General Public License along with this library; if not, write to the Free Software Foundation,Inc., 59 Temple Place, Suite 330, Boston, MA 02111-1307 USA

Also add information on how to contact you by electronic and paper mail.

You should also get your employer (if you work as a programmer) or your school, if any, to sign a “copyright disclaimer” for the library, if necessary. Here is a sample; alter the names: Yoyodyne, Inc., hereby disclaims all copyright interest in the library `Frob’ (a library for tweaking knobs) written by James Random Hacker.

<signature of Ty Coon>,1 April 1990
Ty Coon,President of Vice

That’s all there is to it!
Exhibit C

This is a version (aka dlmalloc) of malloc/free/realloc written by Doug Lea and released to the public domain. Use, modify, and redistribute this code without permission or acknowledgement in any way you wish. Send questions, comments, complaints, performance data, etc to dl@cs.oswego.edu

VERSION 2.7.2 Sat Aug 17 09:07:30 2002 Doug Lea (dl at gee)

Note: There may be an updated version of this malloc obtainable at



著作権など

ftp://gee.cs.oswego.edu/pub/misc/malloc.c

Check before installing!

Exhibit D

LICENSE ISSUES

The OpenSSL toolkit stays under a dual license, i.e. both the conditions of the OpenSSL License and the original SSLeay license apply to the toolkit. See below for the actual license texts. Actually both licenses are BSD-style Open Source licenses. In case of any license issues related to OpenSSL please contact openssl-core@openssl.org.

OpenSSL License

Copyright (c) 1998-2008 The OpenSSL Project. All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgment: "This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit. (http://www.openssl.org/)"
4. The names "OpenSSL Toolkit" and "OpenSSL Project" must not be used to endorse or promote products derived from this software without prior written permission. For written permission, please contact openssl-core@openssl.org.
5. Products derived from this software may not be called "OpenSSL" nor may "OpenSSL" appear in their names without prior written permission of the OpenSSL Project.
6. Redistributions of any form whatsoever must retain the following acknowledgment: "This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit (http://www.openssl.org/)"

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE OPENSSL PROJECT "AS IS" AND ANY EXPRESSED OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE OPENSSL PROJECT OR ITS CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

This product includes cryptographic software written by Eric Young (eay@cryptsoft.com). This product includes software written by Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com).

Original SSLeay License -----

Copyright (C) 1995-1998 Eric Young (eay@cryptsoft.com) All rights reserved.

This package is an SSL implementation written by Eric Young (eay@cryptsoft.com).

The implementation was written so as to conform with Netscape's SSL.

This library is free for commercial and non-commercial use as long as the following conditions are aheared to.

The following conditions apply to all code found in this distribution, be it the RC4, RSA, lhash, DES, etc., code; not just the SSL code. The SSL documentation included with this distribution is covered by the same copyright terms except that the holder is Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com).

Copyright remains Eric Young's, and as such any Copyright notices in the code are not to be removed. If this package is used in a product, Eric Young should be given attribution as the author of the parts of the library used. This can be in the form of a textual message at program startup or in documentation (online or textual) provided with the package. Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.

2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.

3. All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgement: "This product includes cryptographic software written by Eric Young (eay@cryptsoft.com)" The word 'cryptographic' can be left out if the rouines from the library being used are not cryptographic related :-).

4. If you include any Windows specific code (or a derivative thereof) from the apps directory (application code) you must include an acknowledgement: "This product includes software written by Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com)"

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY ERIC YOUNG "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE AUTHOR OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

The licence and distribution terms for any publically available version or derivative of this code cannot be changed. i.e. this code cannot simply be copied and put under another distribution licence [including the GNU Public Licence.]

TOTO

保証書

本書は、本書記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。

したがってこの保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

表記期間中に故障が発生した場合は、本書をご提示のうえ、お求めの販売店・組立店または TOTO メンテナンス（株）修理受付センター 〒105-8306 東京都港区海岸 1-2-20 汐留ビルディング (TEL ☎0120-1010-05 FAX ☎0120-1010-02) に修理をご依頼ください。

お客様のおなまえ	様 品 名	浴室テレビ(24V型ワイド) EKK30177 / PTZ0080N
おとこころ	保 証 期 間	お引渡し日から 1年間
お取扱店名	年 月 日	
お引渡し日 ^{注1}		

修理・点検記録

年月日	修理・点検内容	担当者

無料修理規定

- 1 取扱説明書、本体に貼り付けのラベルなどの注意書きに従った正常な使用状態で故障した場合には、表記の期間無料修理いたします。
- 2 (1) 無料修理をご依頼なさる場合には、お求めの販売店・組立店にご依頼のうえ、本書をご提示ください。
(2) お求めの販売店・組立店に無料修理をご依頼になれない場合には、TOTO メンテナンス（株）修理受付センターにご相談ください。
- 3 保証期間内でもつぎの場合は有料修理になります。
 - (1) 維持管理の不備や取扱説明書に記載している警告、注意事項を守らなかったために生じた故障および損傷
 - (2) 車輛、船舶などにご使用になった場合に生ずる故障および損傷
 - (3) 専門業者以外の修理・分解・改造等による故障および損傷
 - (4) 移設による故障および損傷
 - (5) 当社組立範囲外および関連設備工事による故障および損傷
 - (6) 当社組立範囲外の給水・給湯配管からの異物流入による故障および損傷
 - (7) 当社納入製品以外の機器等の設置または使用による故障および損傷
 - (8) 組立完了後、お引渡し日までの間の管理などの不備による故障および損傷
 - (9) 当社の手配によらない第三者による組立上の不注意、過失による故障および損傷
 - (10) 消耗部品(電球・ヒューズ・乾電池・日常のお手入れ箇所のリング・ゴム栓・排水栓のパッキン・ドアのパッキン等)の消耗による故障および損傷
 - (11) 経年変化による変色、摩耗、切れ(コーキング部等)、カビの発生、汚れの固着や使用に伴う外観変化
 - (12) 砂やゴミかみによる故障および損傷
 - (13) 指定規格以外の条件(電源・水圧等)による故障および損傷
 - (14) 火災・爆発等の事故、地震、水害、落雷、凍害等の天災地変、公害、ガス害(硫化水素ガス、塩素ガス等)、塩害による故障および損傷
 - (15) 温泉水・井戸水等水道関連法令に定める飲料用水水質基準に適合しない水を給水したことによる故障および損傷
 - (16) ねずみなどの動物や昆虫等による故障および損傷
 - (17) 寒冷地仕様でない製品の場合の凍結による故障および損傷
 - (18) 契約時、実用化されていた技術では予防することが不可能な事象またはこれらが原因で生じた事故による故障および損傷
 - (19) 保証期間経過後に申し出があった、もしくは、保証該当事項の発生後、速やかに申し出がなかった故障および損傷
 - (20) 保証書に必要と定めた事項の記入がない場合、または字句が書き換えられていた場合
 - (21) 本書の提示がない場合
- 4 本書は日本国内においてのみ有効です。
- 5 保証書は再発行いたしませんので、紛失しないように大切に保管してください。
- 6 無料修理により取り外された部品・製品は、TOTO 株式会社の所有となります。

注1)

お引渡し日とは建築物が建築主様へ引渡しされた日とします。

TOTO 株式会社

〒802-8601

福岡県北九州市小倉北区中島 2-1-1

お客様相談室 TEL ☎0120-03-1010

FAX ☎0120-09-1010

修理を依頼する前に「故障かな?と思ったら」(P.53)をご確認ください

修理・取り扱いのご相談は まずお求めの組立店・販売店へ

組立店・販売店

〒

電話

—

転居や贈答品などでお求めの組立店・販売店へご相談できない場合は、商品名・品番をご確認のうえ、下記TOTO窓口までお問い合わせください。

お客様専用窓口



商品のお問い合わせは

TOTO(株)お客様相談室へ

TEL ☎ 0120-03-1010

FAX ☎ 0120-09-1010

受付時間：9:00～17:00（夏期休暇・年末年始を除く）



修理のご用命は

安心・信頼の

TOTOメンテナンス(株)修理受付センターへ

ホームページ <https://www.tom-net.jp>

TEL ☎ 0120-1010-05

FAX ☎ 0120-1010-02

受付：年中無休

受付時間：8:00～19:00

訪問修理：年中無休（一部地域を除く）

営業時間：9:00～18:00



交換部品・別売品
ご購入は

TOTOメンテナンス(株)TOTOパーツセンターへ

TEL ☎ 0120-8282-55

FAX ☎ 0120-8272-99

受付時間：平日 9:00～18:00 土・日・祝日 9:00～17:00
（夏期休暇・年末年始を除く）

※インターネットでの部品購入はTOTOパーツショップへ(24時間受付)

<https://tom-parts.jp.toto.com>



お客様からお預かりした個人情報は、関連法令および社内諸規定に基づき慎重かつ適切に取り扱います。
詳細はTOTOホームページをご覧ください。

TOTO株式会社

TOTOホームページ <https://jp.toto.com>



2023.1
AFKL239N3